

令和 6 年 度

**教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(令和5年度対象)**

令和6年11月

帯広市教育委員会

目 次

1	教育委員会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（1）組織・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（2）主な職務権限・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（3）令和5年度教育委員会の活動状況・・・・・・・・	2
2	点検及び評価の基本的な考え方・・・・・・・・	5
	（1）趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（2）対象・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（3）方法・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（4）学識経験者の知見の活用・・・・・・・・	5
	（5）帯広市教育基本計画の施策体系・・・・・・・・	6
3	点検及び評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	（1）基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり	8
	（2）基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり	36
4	教育に関する学識経験者の意見・・・・・・・・	54
	参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・	56
	資料1 令和5年度教育行政執行方針・・・・・・・・	57
	資料2 令和5年度予算決算・・・・・・・・	59
	資料3 令和5年度における主な取り組み一覧・・・・・・・・	61
	資料4 成果指標の推移・・・・・・・・	69
	資料5 課題及び今後の方向性に対する令和5年度の取り組み	74

1 教育委員会の概要

(1) 組織

教育委員会は、政治的中立性を維持しつつ、安定性・継続性を確保して教育行政を管理・執行するため、首長から独立した合議体の執行機関として設置されています。帯広市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の教育委員で組織されています。

帯広市教育委員会（令和6年3月31日現在）

- 教育長 広瀬 容孝（令和4年7月7日就任）
- 委員 藤澤 郁美（平成27年6月23日就任）
- 委員 佐々木 しゅり（平成28年6月23日就任）
- 委員 柳川 久（令和2年12月21日就任）
- 委員 早川 一之（令和6年4月1日就任）

(2) 主な職務権限

- 教育行政の一般方針に関すること。
- 委員会規則及び規程の制定及び改廃に関すること。
- 不服申立及び訴訟に関すること。
- 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
- 通学区域の設定及び変更に関すること。
- 職員（道費負担職員を除く。）の任免、分限及び懲戒その他の人事に関すること。
- 道費負担職員の校長及び教頭の任免並びに道費負担職員の分限及び懲戒の内申に関すること。
- 社会教育委員の委嘱及び解職に関すること。
- 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案についての意見申出に関すること。
- 教科用図書の採択に関すること。
- 重点計画の策定及び変更に関すること。

(3) 令和5年度教育委員会の活動状況

① 教育委員会会議の開催状況

期日	番号	案件
令和5年4月25日	議案第19号 報告第8号 報告第9号 報告第10号 その他	職員の人事について 教育長職務代理者の指名について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について 教職員の処分について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和5年5月30日	議案第20号 議案第21号 議案第22号 報告第11号 報告第12号 その他	職員の人事について 令和5年度帯広市一般会計補正予算(第4号)について 教職員の人事内申について 帯広市教育支援委員会委員の解職及び委嘱について 帯広市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和5年6月29日	報告第13号 報告第14号 報告第15号 報告第16号 その他	帯広市青少年問題協議会委員の委嘱について 帯広市教科用図書選定委員会委員の委嘱について 帯広市学校給食センター運営委員会委員の任命について 帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱について (1)帯広市議会6月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
令和5年7月21日	議案第23号 報告第17号 報告第18号 報告第19号 報告第20号 その他	帯広市社会教育委員の委嘱について 帯広市民文化ホール運営審議会委員の委嘱について 帯広百年記念館運営市議会委員の委嘱について 帯広市文化財審議委員会委員の委嘱について 帯広市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和5年7月26日	議案第24号	職員の人事について
令和5年8月7日	議案第25号	中学校用教科用図書の採択について
令和5年8月8日	議案第26号 議案第27号 報告第21号	小学校用教科用図書の採択について 高等学校用教科用図書の採択について 教科用図書の採択に係る情報の公表について
令和5年9月1日	議案第28号 議案第29号 その他	令和5年度帯広市一般会計補正予算(第6号)について 令和4年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和5年9月14日	議案第30号	令和5年度帯広市一般会計補正予算(第8号)について
令和5年9月21日	議案第31号	職員の人事について
令和5年9月26日	議案第32号 議案第33号	令和5年度帯広市文化賞及び文化奨励賞等の決定について 令和5年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定について
令和5年9月29日	議案第34号 その他	教職員の処分内申について (1)帯広市議会9月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
令和5年10月16日	議案第35号 議案第36号 議案第37号 議案第38号 その他	令和6年度帯広市立高等学校の入学募集について 帯広市図書館条例施行規則の一部改正について 令和5年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定について 教職員の処分内申について (1)令和5年度教育懇談会の開催について (2)今後の事業予定について (3)令和5年度全国学力・学習状況調査の結果(速報)について
令和5年11月6日	報告第22号	給食費の改定について
令和5年11月13日	議案第39号 議案第40号 議案第41号 報告第23号 報告第24号 報告第25号 その他	令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について 令和5年度帯広市一般会計補正予算(第9号)について 教職員の人事内申について 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について とかちプラザ運営審議会委員の委嘱について 教職員の処分について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和5年11月27日	議案第42号 議案第43号	公の施設の指定管理者の指定について(十勝川河川敷運動施設) 公の施設の指定管理者の指定について(札内川河川敷運動施設)

期日	番号	案件
令和5年12月21日	議案第44号 議案第45号 報告第26号 報告第27号 その他	職員の人事について 令和5年度とかちジュニア文芸各賞の決定について 帯広市青少年問題協議会委員の委嘱について 教職員の処分について (1)教育懇談会の概要報告について (1)帯広市議会12月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
令和6年1月23日	議案第1号 報告第1号 その他	教職員の処分内申について 学校給食費の改定についての答申について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和6年2月15日	議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 その他	令和5年度帯広市一般会計補正予算(第14号)について 令和6年度帯広市一般会計予算について 帯広市職員定数条例の一部改正について 帯広市こども学校応援基金条例の制定について 帯広市学校給食センター条例の一部改正について 帯広市ふるさと文化基金条例の一部改正について 帯広市教育委員会委員の辞職について 令和5年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について 帯広市奨学生選考委員会委員の委嘱について 教職員の処分について (1)今後の事業予定について
令和6年2月20日	議案第9号	職員の処分について
令和6年3月18日	議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 報告第5号 報告第6号	帯広市立学校管理規則等の一部改正について 帯広市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部改正について 令和6年度帯広市教育行政執行方針について 教職員の人事内申について 令和6年度帯広市学校教育指導の重点について 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
令和6年3月19日	議案第14号 議案第15号 議案第16号	職員の人事について 職員の人事について 帯広市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
令和6年3月26日	議案第17号 その他	帯広市教育委員会会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する規則の廃止について (1)帯広市議会2月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について

・教育委員会会議開催回数	22回		
議決案件	44件	うち非公開	37件(うち所定の手続き後会議録を公開 30件)
報告案件	26件	うち非公開	11件(うち所定の手続き後会議録を公開 6件)
その他	29件	うち非公開	1件(うち所定の手続き後会議録を公開 1件)

〔参考〕教育委員会会議の非公開について
教育委員会会議は、公開が原則ですが、①個人の権利を侵害するおそれのあるもの、②職員の任免、賞罰、人事等、③議会の議案に係る意見申出、④訴訟、不服申立に係るもの、⑤教育行政の公正、円滑な運営に支障が生じるおそれがあるものについては、出席委員の3分の2以上の多数で、公開しないことができます。(帯広市教育委員会会議規則第16条)

② 課題研究協議会開催状況

回数	期日	テーマ
1	令和5年5月30日	小学校教科用図書の採択について
2	令和5年7月24日	教科用図書の答申内容について

③ 総合教育会議の開催状況

期日	番号	案件
令和5年12月21日	協議事項	おびひろ動物園の役割と魅力アップに向けた取り組み

〔参考〕総合教育会議について
帯広市総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項に基づき設置するもので、以下の事項について、帯広市長と帯広市教育委員会による協議及び事務の調整等を行うこととしています。
(1) 帯広市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
(2) 帯広市の教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき措置
(3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置

④ 研修会参加状況

期日	場所	研修会等	出席者数
令和5年8月23日～ 令和5年8月24日	室蘭市	北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会	3人
令和5年8月25日	清水町	十勝管内市町村教育委員会教育長移動研修会	1人
令和5年11月20日	Zoom	市町村教育委員会新任委員研修会	1人
令和5年12月26日	Zoom	十勝管内市町村教育委員会委員研修会	4人

4回 延べ9人

⑤ 行事等参加状況

期日	行事名	出席者数
令和5年4月6日	帯広高等看護学院入学式	1人
令和5年4月10日	市内小中義務教育学校入学式	1人
令和5年4月11日	帯広南商業高等学校入学式	1人
令和5年5月10日	北海道都市教育長会春季定期総会(美唄市)	1人
令和5年5月17日～ 令和5年5月19日	全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会 帯広大会	1人
令和5年5月25日	十勝管内教育委員会連絡協議会定例総会	1人
令和5年5月27日	市内小中・義務教育学校 運動会・体育祭	2人
令和5年6月3日	市内小学校 運動会	2人
令和5年9月6日	帯広市教育研究会 教育講演会	2人
令和5年9月23日	帯広市功労者表彰式	4人
令和5年9月22日～ 令和5年12月8日	市内小中学校公開研究会等	30人
令和5年9月24日	北栄小学校開校70周年記念式典	1人
令和5年10月9日	帯広市スポーツ賞・スポーツ奨励賞表彰式	5人
令和5年11月3日	帯広市文化賞・文化活動功労賞表彰式	5人
令和5年11月19日	教育懇談会（図書館）	3人
令和5年11月20日	教育懇談会（大正トレーニングセンター）	2人
令和5年11月22日	給食交流会（明星小）	4人
令和5年12月23日	帯広市民文芸賞表彰式	3人
令和6年1月7日	20歳の集い	5人
令和6年1月27日	帯広市スポーツ協会功労賞授賞式	1人
令和6年2月17日	とかちジュニア文芸表彰式	1人
令和6年3月12日	学校文化活動奨励賞授賞式	1人
令和6年3月15日	市内中学校・義務教育学校卒業式	1人
令和6年3月19日	教育実践表彰授賞式（明星小・大空学園）	1人
令和6年3月22日	市内小学校卒業式	2人
令和6年3月25日	教育実践表彰授賞式（外国語部会）	1人

延べ82人

2 点検及び評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育の取り組みについて点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

(2) 対象

「帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）」の体系に従い、令和5年度に実施した取り組みを対象として、点検及び評価を実施しました。

(3) 方法

点検及び評価は、第七期帯広市総合計画の政策・施策評価と整合をはかりつつ、「帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）」の「個別施策」ごとに行いました。具体的には、成果指標の達成状況や令和5年度における主な取り組みなどを踏まえながら、令和5年度における取り組みの成果と、課題及び今後の方向性の2つの観点から、点検及び評価を行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

学識経験者から点検及び評価に関する意見や助言をいただき、教育委員会が点検及び評価を行うに当たって客観性を確保するとともに、今後の取り組みに活用していきます。

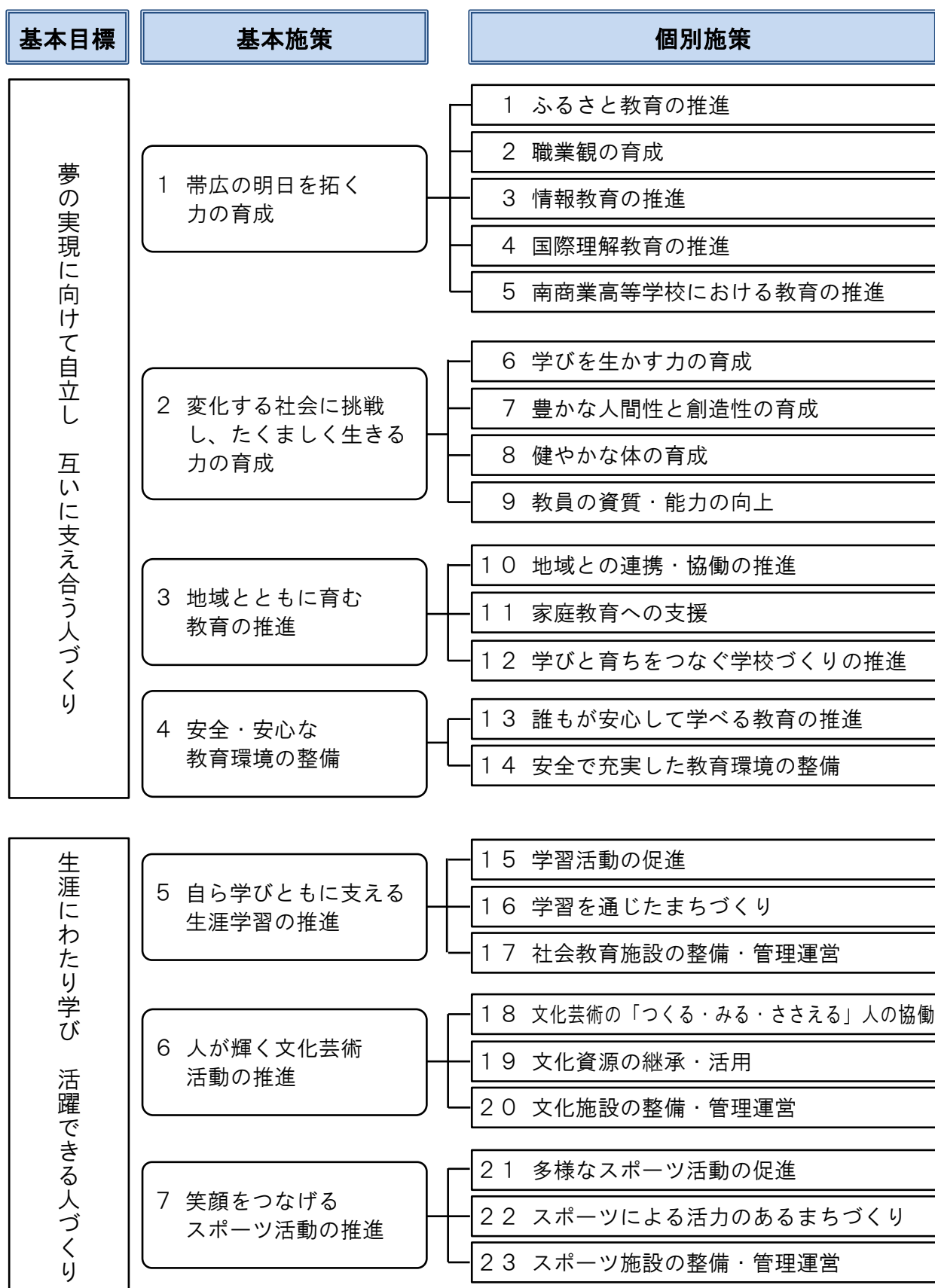
参考1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(5) 帯広市教育基本計画の施策体系



めざす姿

子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。

子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。

子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。

子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。

生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。

子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。

子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。

子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。

教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。

地域の人たちが子どもたちの教育に積極的にに関わり、健やかな成長を支えています。

各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身に付ける教育が行われています。

学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。

障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。

安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。

誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。

学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。

社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。

文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。

歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。

市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。

誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。

誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。

スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人がスポーツ施設を活用しています。

3 点検及び評価の結果

(1) 基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり

基本施策1 帯広の明日を拓く力の育成

個別施策	1-1 ふるさと教育の推進
めざす姿	子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。
施策担当課	学校地域連携課、学校給食センター、学校教育指導課、教育研究所、児童会館、百年記念館、動物園、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合(%)						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	44.7	39.4	48.8	49.6	73.1		60.0以上
中学校	39.1	38.9	41.1	42.9	65.9		55.0以上

＜成果指標の達成状況＞

R4と比較して小学校では23.5ポイント、中学校では23ポイント増加し、目標値を達成しています。R5に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、地域や環境を学ぶ機会が増加したことや、「おびひろ市民学」での出前授業等を通して、授業協力者との関わりが十分に醸成されたことによるものと考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 地産地消に取り組む学校給食 地元の農業関係者等と連携し、地場産野菜の導入促進を図りました。 ふるさと給食(9月～11月の各1日)では地場産食材を積極的に活用し、地域の食や産業への理解促進を図りました。 また、学校給食の更なる魅力向上を図るため、食の専門家や生産者、企業と連携し、地元産食材を使用した加工品の開発を進めたほか、学校給食をテーマに食の大切さや地産地消を考える標語コンテストを実施しました。	 玉ねぎなどを生産している いずみ農園のみなさん  ふるさと給食で提供した 「十勝野菜のオベリベリ煮込み」

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 地域資源を活用したふるさと理解の促進 小中義務教育学校9年間を通して、食や福祉、文化等、様々な視点から帯広を知るための授業である「おびひろ市民学」において、様々な体験を通じて地域社会の一員としての意識を育む教育を進めました。また、関係団体の新規協力を拡充し、学校が活用できる新たな講座を開発するとともに、学校以外の各種教育施設においても、それぞれの特色を活かし、展示や各講座、スポーツ体験等を通じた学びの機会を提供しました。
	(2) 食を通じたふるさと理解の促進 「ふるさとの日」や「学校給食週間」における、地場産食材を活用した給食の提供を通じて、児童生徒における地域の食や産業への理解促進を図りました。また、「おびひろ市民学」において「帯広らしい食育プログラム」を実施し、栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解を進めました。
	(3) 地域社会に参画する意識の醸成 各団体等と連携し、体験活動やリーダー研修を通して地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーを養成しました。また、防災・減災意識の啓発を図り、地域における自主防災活動への参加や活動の活性化を促すための、親子防災講座の実施など、まちづくりに参画する社会の一員としての意識づくりに取り組みました。
	(4) 環境教育の推進 環境破壊や自然災害を自らの課題として捉え、課題解決にあたる主体性を育むため、実社会との結びつきを意識した教育を進めたほか、児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1) 地域資源を活用したふるさと理解の促進 郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びを進めるほか、新たな講座（プログラム）の開発を進めます。また、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供します。
	(2) 食を通じたふるさと理解の促進 地域の食や産業への理解促進を目的として、今後も地場産食材を活用した「ふるさと給食」を提供するほか、「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施し、栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解を進めます。
	(3) 地域社会に参画する意識の醸成 各団体等と連携しながら、体験活動やリーダー研修を通じた、養成事業の充実を図ります。また、子どもたちが消費者の権利や責任ある消費行動を理解し、計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける機会を提供するほか、小中義務教育学校において親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加意識を高めます。
	(4) 環境教育の推進 学校での環境教育を推進し、子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設けるほか、帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を提供します。

個別施策	1-2 職業観の育成
めざす姿	子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	93.6	93.8	95.6	93.8	93.8		100.0
中学校	94.6	95.6	95.5	96.9	95.5		100.0

＜成果指標の達成状況＞

R4と比較して小学校では横ばいで推移し、中学校では1.4ポイント減少となり、目標値に向けて進捗していません。「おびひろ市民学」の授業等を通して多様な大人に触れ、大人から子どもに社会参画の意義等を伝えたり、一人一台端末を活用した多様な調べ学習を行ったものの、十分に理解を深められなかったことによるものと考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆「おびひろキッズタウン」における職業体験 キャリア教育の一環として、地域の企業や官公庁の参加による職業体験「おびひろキッズタウン2023」を開催しました。 地域社会全体で子どもを育てる機運を高めつつ、仕事の楽しさやお金の価値、働くことの意味など、社会の仕組みを学ぶ機会を提供することができ、令和5年度は第4学年150人を対象に実施し、132人の参加がありました。	 出展企業の指導のもと職業体験をする様子
◆ おびひろ市民学の推進 子どもたちが、十勝・帯広の歴史や文化、自然や産業等について、小中義務教育学校9年間を通して系統的に学び、十勝・帯広への理解を深め、郷土への愛着や誇りを育むために、地元企業等と連携した授業を実施しました。 また、中学校第3学年において学びのゴールとして「帯広のこれから～私の行動宣言～」という単元を実施し、帯広のことを学んだ子どもたちが帯広の未来をじっくりと考える機会をもちました。	 昨年度中学校で行われた授業「帯広のこれから」の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学校におけるキャリア教育の推進 多様な職業について理解を深め、地域社会の一員としての意識を育むため、地元企業等と連携し、外部講師を招きながら体験学習や講話等を行う授業等を行いました。また、一人一台端末を活用したオンライン工場見学やインターネットによる調べ学習等、キャリア・パスポートを活用した系統的な指導に取り組みました。
	(2)職業体験機会の充実 美容師や銀行員、スーパー店員など、19の職業体験ができる「おびひろキッズタウン」を地域の企業や官公庁の協力のもと実施しました。 図書館では、小学生を対象にした「なりきり図書館員」の実施や職業体験、インターンシップの職業インタビューを通じ、市役所や司書の仕事について理解を深める機会を提供しました。 百年記念館では、中高校生向けのインターンシップとして、博物館での仕事を体験する機会を提供しており、令和5年度は中学生3人の受け入れを実施しました。 動物園では、飼育体験等の講座実施のほか、大学生の博物館実習やインターンシップの受け入れ、小中義務教育学校からの依頼による職業調べや講話を通じ、飼育員や獣医師の仕事について理解を深める機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校におけるキャリア教育の推進 「おびひろ市民学」において「キャリア・パスポート」の視点を取り入れた「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を9年間継続して活用するとともに、児童生徒の系統的な学びの充実による社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上が図られるよう、各学校の主体的な講座の選択を促していきます。また、積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、学校間連携が図られるよう情報を共有します。
	(2)職業体験機会の充実 「おびひろキッズタウン」の開催など、関係課や参加企業と協力し、職業体験機会を提供します。 図書館においては、継続的にインターンシップや実習の受け入れ依頼があることから、体験者が希望する分野に沿った職業体験機会を提供します。 百年記念館においては、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験機会を提供します。 動物園においては、飼育体験等の事業におけるアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実に向けて取り組みます。

個別施策	1-3 情報教育の推進
めざす姿	子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	87.4	81.0	—	—	86.0		90.0 以上
中学校	73.8	79.0	—	—	78.0		80.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R3・R4については実績値はありませんでしたが、施策の状況を把握するために、R5より全児童生徒を対象に独自で調査を行いました。

その結果、小学校ではR2の実績値と比較して5ポイント増加し、中学校では1ポイント減少したものの、基準値を上回っており、目標値に向けて進捗しています。一人一台端末の導入から3年が経過し、各学校において授業等での活用が図られる中、子どもたちにとってICTが身近なものとなり、幅広い用途で自分のペースで活用できる利点に対する理解が進んだことによるものと考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容
◆ プログラミング教育の推進 プログラミング教育の必修化に伴い、プログラミング教育を通して子どもたちの情緒を育成したり、論理的な思考能力を育むことを目的に、R5より帯広市の全中学校にプログラミング教育の向上を図るアプリケーションを導入しました。子どもが幅広い用途で自分のペースで活用できる利点を最大限に生かしながら、長期休業中の自主的な取組や家庭学習等での活用等、各学校で特色ある利活用が進められています。



中学校でプログラミング教育のアプリケーションを活用する様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)情報活用能力の育成 各学校の教育課程編成において、子どもたちが様々な情報を主体的に収集・整理・分析し、発信・伝達する力を育成するため、「総合的な学習の時間」において、一人一台端末等のICTを活用した学習活動に取り組みました。また、長期休業中における研修講座や、おびGIGA支援員派遣による校内研修により、教員のICTを活用した指導力の向上に取り組みました。
	(2)情報モラルの育成 各学校において、「特別活動」「道徳科」及び「総合的な学習の時間」で、情報モラルについての正しい知識を身に付けるため、著作権やプライバシーの保護等について理解を深める学習を進めるよう教育課程を編成しました。また、各学校の生徒指導担当の教職員を対象にした、関係機関との連携による講演会の開催（11月1日）や、携帯電話販売店に対し、携帯電話契約時のフィルタリングについての説明状況等の確認のため、立入調査を実施するなど、インターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組みました。
	(3)プログラミング教育の推進 コンピュータに意図した処理を実行するよう指示するプログラム体験を発達の段階に応じて実施する等、プログラミング的思考やICTを活用するために必要な資質・能力の育成に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)情報活用能力の育成 一人一台端末の日常的な活用の充実に向けた各学校への指導・助言、国や道の通知等の情報発信に取り組みます。また、実社会において情報がどのように活用されているか理解を深めるため、地元企業等と連携したICTを活用した教育を進めます。
	(2)情報モラルの育成 関係機関や事業者、家庭と連携して、インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用、SNSの正しい利用やインターネットの安全利用等について国や道の通知の共有や、出前講座の開催等を通じた啓発に取り組み、情報モラルを育成します。
	(3)プログラミング教育の推進 一人一台端末を活用したプログラミング教育を行う単位について、各学校が教育課程へ位置付けるとともに、中学校技術科において、プログラミングを学習するアプリケーションを全中学校に導入し、より実践的な授業を展開します。

個別施策	1-4 国際理解教育の推進
めざす姿	子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。
施策担当課	学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う子どもの割合(%)						
区分	基準値 【H29～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	66.3	—	—	—	75.0		75.0 以上
中学校	64.4	—	—	—	70.0		75.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R2～R4 については実績値はありませんでしたが、施策の状況を把握するために、R5 より全児童生徒を対象に独自で調査を行いました。 その結果、基準値と比較して小学校では8.7 ポイント、中学校では5.6 ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。「おびひろ市民学」の必須単元において JICA 帯広に訪問し、国際理解について実地で学習したり、R2 より小学校で外国語が教科化されたことで、外国に対する興味関心が高まってきているものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ JICA 帯広における授業（おびひろ市民学） おびひろ市民学のうち、SDGs について学ぶ講座では、市内全ての中学校が JICA やはぐくむを訪問し、国際理解教育をはじめとした学習を行います。各国の SDGs と我が国の達成状況を比較・検討することを通して、自分たちにできることを考える体験的な学習を行いました。	 「おびひろ市民学」において、JICA 帯広を訪問し学習する様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 小学校段階から外国語に親しみ、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるため、各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を行いました。また、外国語指導講師（ALT）の指導力向上のために、「ALT 研修 TIME」を実施したほか、長期休業期間でのサポート学習等で、児童生徒が外国語に触れる機会を充実させました。また、発達の段階に応じた指導計画を作成し、外国語指導講師や国際交流員等を効果的に活用し、生きた英語に触れる機会を提供するなど、体験的なコミュニケーション活動に取り組みました。
	(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進 世界の中の日本人として自覚を持ち、世界の民族の多様な言語や文化の違いに気づくことのほか、それぞれの生活・習慣・価値観を理解し協調しながら他国を尊重する姿勢を育むために、外国語指導講師や市の国際交流員との交流、JICA 帯広の授業等を通して、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に引き続き取り組むほか、今後も外国語指導講師の研修を行い、授業力の向上を図ります。また、外国語指導講師等との触れ合いを通して、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を進めます。
	(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進 子どもたちが多様な国の伝統・文化に関する理解を深めることができるよう、長期休業期間等を通じ、外国語指導講師による外国語のサポート学習に引き続き取り組んでいきます。さらに、森の交流館・十勝等、地域の施設や人材を積極的に活用し、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践を進めます。

個別施策	1-5 南商業高等学校における教育の推進
めざす姿	生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。
施策担当課	南商業高等学校

成果指標の状況							
指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.7	15.7	16.6	17.6	33.3		50.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R4 と比較して 15.7 ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。新型コロナウイルス感染症対策のため縮小していた学校行事や、ボランティア活動が少しずつ再開され、活動の機会が増えたことによるものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 南商業高等学校におけるキャリア教育の充実 即戦力となる人材育成のため、計画的・組織的・系統的な進路指導や資格取得の支援等を行っています。 1 年生では、本校卒業生から就労体験を聞く「先輩訪問」や進路学習を行い、進路実現への意欲を高めるとともに、今何をするべきかを考える機会としています。2 年生は、外部講師を招き、身だしなみや礼儀作法の指導を受けるマナー講習会を開催しました。3 年生では、5 月に面接基本指導、9 月には模擬面接指導など、進学や就職試験に備えて準備を行いました。	 全商実務検定3冠以上 取得数全道一

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)商業教育の充実 商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習に取り組んだ結果、卒業までに全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合が全道で最多の82.4%となりました。なお、現地の状況確認や、研修内容の検討のため姉妹都市マディソン市への留学生派遣は中止となりました。
	(2)地域経済に貢献する人材の育成 マナー講習会の開催、インターンシップ、各種の模擬試験の実施等に取り組んだ結果、前年に引き続き就職・進学ともに内定率100%を達成しました。
	(3)地域社会との連携・協働による教育の推進 学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動について改善を図る取り組みを進めました。また、学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を図るため、学校運営協議会を開催しました。
	(4)地域とつながる活動の推進 地域住民に学習機会を提供し、地域と学校のつながりの促進を図る学校開放講座は、全国大会で優勝したクッキング部を講師として、料理教室を開催しました。また、ボランティア活動も一部再開しました。
課題及び今後の方向性	(1)商業教育の充実 商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導に取り組むとともに、多様な進路に対応した教育課程を編成します。また、国際理解教育については、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携し、安全に交流できる体制や研修内容を検討します。
	(2)地域経済に貢献する人材の育成 様々な事業所と連携したインターンシップや、外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験合格に向けた学習支援等により即戦力となる人材育成の充実に取り組みます。
	(3)地域社会との連携・協働による教育の推進 学校運営協議会から学校運営に対する意見をいただくほか、学校評価を活用するなどして、学校の運営状況や教育活動について今後も改善を図ります。
	(4)地域とつながる活動の推進 学校開放講座については、学校施設や人材の活用により地域住民に学習機会の提供と、学校の理解促進を図っていきます。 生徒のボランティア活動については、安全にボランティア活動に参加できるよう、主催者等と連携を図り取り組んでいきます。

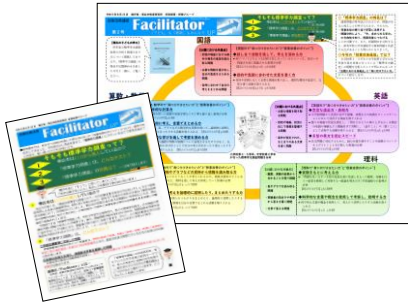
基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

個別施策	2-6 学びを生かす力の育成
めざす姿	子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。
施策担当課	学校教育指導課、教育研究所、図書館、児童会館

成果指標の状況							
指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H30～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	75.8	71.7	74.8	76.1	74.5		85.0 以上
中学校	79.8	75.7	85.2	81.9	84.7		85.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R4 と比較して中学校では 2.8 ポイント増加しており、目標値に向けて進捗しています。小学校では R4 と比較して 1.6 ポイント減少したことから、各種学力調査の分析や帯広市教育委員会作成の教材活用を進める必要があると考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 授業改善への取組 各学校に対して法令に基づく学校教育指導訪問を行いました。この訪問は、学校経営をはじめ、教育課程、校内研究、学習指導等へ指導・助言を行うもので、学校における授業工夫や改善のアプローチについても交流します。 このような働きかけを通して、子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に向けて、粘り強く取む授業づくりを進めます。	 学校教育指導訪問で授業を観察する様子
◆ 授業改善通信の配付 帯広市教育研究所と研究協力員が標準学力調査の出題傾向を分析し、各教科の学習において身に付けておくべき力や、授業改善のポイントについて「授業改善通信」にまとめ、市内全小中学校及び義務教育学校へ配付しました。	 授業改善通信

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学校における授業の工夫・改善 「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視し、一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適な学びや協働的な学びを進めました。
	(2)学習活動の支援 教育研究所ホームページにおいて、常時ダウンロード可能な小中学生向け教材を掲載したほか、朝の読書や調べ学習等における「ぶっくーる便」の活用、放課後の学習会開催等の学びの機会を提供しました。また、登校ができない児童生徒の学びを保障するために、メタバース空間を活用した学びを進めました。
	(3)教育課程の工夫・改善 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成し、行事の方向性等の共有を図ったほか、小中義務教育学校において、一貫性のある教育が実施されるよう、エリアを中心として学力向上や体力向上等の課題に向けたエリア共通の取り組みの計画をはじめとする小中連携を進めました。
	(4)学力の分析・検証 標準学力調査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を全小中学校及び義務教育学校に配布することで、各学校で自校の学力分析・検証を行い、児童生徒の実態を把握して授業改善につなげ、学力の向上に寄与しました。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 学校での授業のほか、児童会館での科学実験・工作、図書館での講習会の開催等、科学や自然に対する興味・関心を高め、科学的なものの見方や考え方を養う体験学習を進めるとともに、関係機関と連携しオンラインを活用した施設見学を行いました。
課題及び今後の方向性	(1)学校における授業の工夫・改善 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実と「子ども」が主体となる授業実践に向け、一人一台端末をより主体的に活用する授業に取り組みます。
	(2)学習活動の支援 一人一台端末で活用できる教材作りに引き続き取り組むほか、「ぶっくーる便」については、計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供します。また、不登校児童生徒への学びの保障等、メタバース空間をはじめとするオンラインを活用した学びの充実を進めます。
	(3)教育課程の工夫・改善 目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を図るとともに、全小中義務教育学校の適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するために「教育課程編成の手引き」の見直しを継続します。
	(4)学力の分析・検証 子どもたちの学力の実態や標準学力調査の特徴を総合的に分析し、指導方法の改善につながる事項を示して、学校に還元します。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 図書館や児童会館では、学校のニーズを踏まえながら各種の学習機会を提供します。

個別施策	2-7 豊かな人間性と創造性の育成
めざす姿	子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。
施策担当課	学校教育課、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	69.7	70.7	76.6	78.3	79.7		85.0 以上
中学校	71.1	79.5	78.7	81.7	83.6		85.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R4 と比較して小学校は 1.4 ポイント、中学校では 1.9 ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。各学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取り組みが進んだことによるものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 道徳教育の充実 子どもたちの道徳性を育むため、道徳的な諸価値について自分事として考え、自己の生き方についての考えを深めることができるよう、道徳の授業の質を高めることを目的として、公開研究会を行いました。 授業の中で自分の考えを基に友達と話し合い、よりよく生きるために考えを深める子どもたちの姿から、授業改善のための方策について教職員から活発な意見交流がなされました。	 授業改善の方策について意見交流が行われている様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)道徳教育の充実 公開研究会等を活用した校内外における教職員向け研修の充実を図り、考え・議論する道徳に向けた道徳科の授業改善を進めました。また、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を育む取り組みを進めました。
	(2)読書活動の推進 図書ボランティアによる読み聞かせ等のほか、学校図書館の図書整備や朝読書を通じた子どもたちの読書活動への興味関心の向上に取り組みました。また、多様な読書機会を確保するため、おはなし会の開催や、各種ブックリストの作成、電子書籍の利用促進を通じ、学校と図書館が連携した取り組みを行いました。
	(3)文化芸術活動の推進 子どもたちの感性や創造力を育むため、音楽・図画工作・美術・技術・家庭科の授業等において多様な文化芸術の体験的な学習活動を推進したほか、芸術文化に触れる機会を提供するため、子ども向けの鑑賞事業を実施しました。また、各学校においてICTを活用した学習発表会や文化祭が展開されるなど、子どもたちの情操教育に取り組みました。
	(4)体験活動の推進 「おびひろ市民学」において、ICTを活用し工場見学をオンラインで実施するなど、空間的・時間的な工夫を通じて、子どもたちへ体験活動機会の提供に取り組みました。また、各種社会教育施設と連携し、動物とのふれあい体験や科学体験、防災体験や文化芸術体験等、地域の特色を生かした体験活動を推進し、「児童生徒が触れて学ぶ」機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)道徳教育の充実 引き続き、校内外における教職員向け研修の充実を図り、道徳科の授業改善を進めるほか、地域人材やゲストティーチャーの活用、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を豊かに育みます。
	(2)読書活動の推進 図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携を図るほか、電子書籍の利用促進を通して読書活動の活性化に取り組みます。また、将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成します。
	(3)文化芸術活動の推進 演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会の提供を通じて、引き続き子どもたちの文化芸術活動の推進に取り組みます。また、より効果的な各学校の学習発表会や文化祭の在り方を検討し、子どもたちの情操教育を進めます。
	(4)体験活動の推進 ICTを活用する等、空間的・時間的な工夫に継続して取り組むとともに、各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動機会を提供します。

個別施策	2-8 健やかな体の育成
めざす姿	子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。
施策担当課	企画総務課、学校教育課、学校給食センター、学校教育指導課、図書館、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	94.0	91.0	92.1	91.7	92.5		100.0
中学校	93.6	94.0	92.9	91.1	89.1		100.0
＜成果指標の達成状況＞ R4と比較して小学校では0.8ポイント増加していますが、中学校では2ポイント減少しており、小中学校とも基準値を下回っています。食に関する啓発資料等の配布や、食育指導専門員等を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導が進んでいるものの、望ましい食生活習慣に係る家庭との連携が十分ではないことによるものと考えられます。							
指標名	1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H26～H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	88.5	—	86.1	89.6	84.8		95.0以上
中学校	85.9	—	85.9	90.1	81.1		90.0以上
＜成果指標の達成状況＞ R4と比較して小学校では4.8ポイント、中学校では9ポイント減少しており、目標に向かって進歩していません。調査結果をもとにした授業改善に取り組んでいるものの、生活習慣改善に向けた家庭との連携が十分でないことによるものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容

◆ 学校における体育指導の充実

本市教育委員会内に「帯広市体力向上推進プロジェクトチーム」を設置し、小中一貫教育の視点に立ち、体力向上を図る取り組みをエリア・ファミリー内で実施するなど、9年間を見通した体力向上に係る環境づくりや認識の改善を図りました。また、体力向上に資する取り組みとして、器械運動やスピードスケートの専門家の派遣による出前授業を実施し、小中義務教育学校の授業改善を進めました。



専門家による出前授業の実施

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)体力・運動能力の向上 各学校において、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証し、授業への反映や生活習慣の見直しに取り組みました。また、スポーツ少年団や指導員への支援を実施したほか、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興に取り組みました。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 地元の農業関係者等と連携し、安全・安心な地場産食材を取り入れた給食の提供を行ったほか、アレルギーを持つ児童生徒が安心して給食時間を過ごせるよう、「学校給食食物アレルギー対応マニュアル」に基づく取り組みを行いました。
	(3)正しい「食」への理解の推進 「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」のもと、栄養教諭や食育指導専門員を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導を行ったほか、「朝食レシピコンテスト」を実施し、食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図りました。また、図書館常設の食文化コーナーにて月毎のテーマに合わせて図書を入れ替え、食に関する様々な図書を展示しました。
	(4)健康教育・健康保持 子どもたちの健康保持増進のため、各学校での学校保健委員会の開催等を通じた取り組みを働きかけたほか、学校の教育活動全体を通じて、がん教育や体育・健康に関する指導を行いました。また、基本的な感染症対策を継続しながら、子どもたちの学びの保障を確保するため、衛生用品の購入等による学校環境の整備を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)体力・運動能力の向上 体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催及び各学校への大学教授等の専門的な指導を通じて、授業改善を図るとともに、子どもたちの体力・運動能力の分析・検証を進めます。また、各団体への支援を通じて指導者の育成を図り、少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組むほか、スピードスケート教室などを通じたスケートの普及振興に取り組めます。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 地場産食材の導入を進めるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達を図ります。また、食物アレルギーを持つ児童生徒が増加傾向にあることから、アレルギーに関する正確な情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組めます。
	(3)正しい「食」への理解の推進 子どもたちが食事や栄養の摂り方等について、正しい知識に基づいて自ら判断し健全な食生活を実践できる資質・能力を育むため、「食育通信」等の資料の配布や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族が一緒に朝食作りに取り組むイベント、食育講演会を実施します。また、図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催し、食への理解を促進します。
	(4)健康教育・健康保持 子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育を進めます。また、各学校において、学びの機会の確保を図ります。

個別施策	2-9 教員の資質・能力の向上
めざす姿	教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。
施策担当課	企画総務課、学校教育課、学校教育指導課、教育研究所、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	82.6	83.1	84.8	83.8	81.3		90.0 以上
中学校	74.8	71.2	79.4	79.0	78.0		80.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R4 と比較して小学校では 2.5 ポイント、中学校では 1.0 ポイント減少し、目標に向けて進捗していません。指導主事による学校教育指導訪問、学校管理職や教職員の指導力や資質能力の更なる育成・向上を目指した研修等において、一人一台端末の効果的な活用等、今日的な教育課題について、積極的かつ具体的な協議を行っているものの、スキルの定着や実践力の向上に課題があるものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 教職員向け講座・研修の開催 教職員の資質向上に関わる取り組みとして、「夏季・冬季研修講座」「ONE-UP 研修会」を開催しました。研修を対面参加とオンラインを併用して開催したほか、帯広市教育研究会の部会と共催で講座を開催するなど、教職員の要望を踏まえた講座を全 18 回実施しました。 また、令和5年度には、教職員経験年数 20 年以上の教職員を対象に、教職員としての知識・技能の更新や若手・中堅教職員への指導ができる資質・能力の向上が図られるよう、講義や協議、演習等を通じて、実践的な研修を実施する「エキスパート教職員実務研修」を全 5 回開催し、84 人の教職員が参加しました。	 冬季研修講座の様子  エキスパート教職員実務研修の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)教員の指導力の向上 指導主事による学校教育指導訪問において、管理職や教職員に指導・助言を行ったほか、学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善ワンポイント講座を実施しました。また、ICT の効果的な活用を一層促進するため、夏季・冬季研修講座において、GIGA スクールの先進地から講師を招いた研修の実施や、「おび GIGA 支援員」を各学校の要望に応じた支援を行いました。
	(2)教職員の働き方改革の推進 教職員の勤務状況の改善等に向けて、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第 2 期）」に基づき、各学校と連携した取り組みを実施した結果、教職員の時間外在校等時間は減少傾向にあります。令和 5 年 2 月に校務支援システムを導入後、令和 5 年度から本格的な運用を開始し、校務の効率化を進めたほか、令和 5 年 8 月に、中学校全校に留守番電話を導入し、勤務時間外の電話対応による教職員の負担軽減を図りました。
課題及び 今後の方向性	(1)教員の指導力の向上 学力向上推進プロジェクトチームの会議等を通じて、小中義務教育学校の教職員が連携した授業改善に向けた取り組みの充実や、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上を進めます。また、教職員向けの研修については、受講率の向上を図るため、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上につながる講座の企画に取り組みます。
	(2)教職員の働き方改革の推進 これまでの取り組みにより、教職員の時間外在校等時間は減少してきていますが、推進プランの目標である「1 か月あたりの上限 45 時間」を超えている教職員が一定数おり、引き続き働き方改革に取り組む必要があります。今後、ICT を活用した校務の効率化や学校行事の見直しなど、推進プランで掲げる各項目について、学校及び市教委関係課等が取り組んでいきます。

基本施策3 地域とともに育む教育の推進

個別施策	3-10 地域との連携・協働の推進
めざす姿	地域の人たちが子どもたちの教育に積極的に関わり、健やかな成長を支えています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、生涯学習文化課

成果指標の状況							
指標名	地域の行事に参加している子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	58.2	50.4	47.8	46.3	50.0		70.0 以上
中学校	35.2	34.3	35.1	29.3	31.7		50.0 以上
<成果指標の達成状況> R4 と比較して小学校では3.7 ポイント、中学校では2.4 ポイント増加しており、基準値は下回っているものの、目標値に向けて進捗しています。新型コロナウイルス感染症が5 類に移行したことに伴い、地域の行事に参加する機会が増えたことによるものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ こども学校応援地域交付金事業の推進 地域の子どものために活動しているボランティア団体同士の連携を促進するため、こども学校応援地域基金を活用し、活動を支援する交付金事業を行っています。 令和5年度は、感染症が5 類に移行したことに伴い、地域活動が活発化し、夏祭りや防災教室、環境整備等、過去最多の17 件の交付事業を実施しました。	 夏祭りの様子 (つつじが丘小学校)
◆ 子どもの居場所づくり事業の実施 子どもの社会性や自主性を育むため、地域ボランティアやNPO 法人が、放課後や休日に小学校の体育館などを活用し、異学年の友達や地域の人との交流など、様々な体験・活動ができる機会を提供しています。令和5年度は、実施回数499 回、延べ11,723 人の児童が参加しました。 また、ボランティアスタッフの募集のため、PR 活動を行ったほか、ボランティア養成講座を開催し、指導技術等の向上に取り組みました。	 放課後子ども広場の様子 (うちわ作り)

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)地域における支援体制の充実 研修会の開催やコミュニティ・スクール通信の発行により、各学校の活動や協議内容の情報周知に取り組んだほか、指導主事の学校教育指導訪問時にコミュニティ・スクール導入による好事例の紹介等を行いました。また、学校・家庭・地域が一体となった活動の促進や人材育成のため、「帯広市学校・家庭・地域協働会議」における意見交換や学校運営協議会委員、地域ボランティア、地域コーディネーター向けの研修会を実施したほか、「こども学校応援地域基金」を活用したこども学校応援地域交付金により団体同士の連携した活動への支援を行いました。
	(2)子どもの安全対策の充実 登下校時の子どもの見守り活動を全小中義務教育学校で実施したほか、災害情報や不審者情報だけでなく、熱中症等に関わる情報提供も加えた、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した保護者への速やかな情報発信に取り組みました。また、庁内外の関係機関と連携して通学路危険か所の点検を行い、点検結果を公表し、安全対策について関係機関へ依頼したほか、登下校時に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども110番の家」の設置について協力を依頼しました（令和5年度末現在981か所）。
	(3)地域主体の体験活動への支援 子どもの居場所づくり事業においては、異世代交流や多様な体験活動を通して、豊かな人間性や社会性の涵養^{かんよう}に取り組みました。青少年育成団体の活動においては、実施可能な事業について工夫して取り組み、子どもたちに体験活動機会を提供しました。
課題及び今後の方向性	(1)地域における支援体制の充実 学校・家庭・地域の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」を進めるため、地域との熟議や協働による取り組みを進めるほか、指導主事による学校教育指導訪問時に、取り組み状況に応じた全国の好事例の情報提供を行います。また、学校と地域との連携した活動や学校運営協議会委員の研修等に取り組むほか、こども学校応援地域交付金による各地域の取り組みを周知し、ボランティア団体同士が連携した活動のさらなる拡大を図ります。
	(2)子どもの安全対策の充実 活動団体の担い手確保を継続し、地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知を進めます。また、通学路の安全確保については、今後も担当部署や関係機関と情報の共有を図りながら、必要に応じて危険か所の合同点検を実施し対策を検討するほか、登録者の確保により「子ども110番の家」設置か所の拡充を図ります。
	(3)地域主体の体験活動への支援 子どもの居場所づくり事業は、事業を担うボランティア登録者数や実施回数及び参加児童数が感染症流行以前より減少しているため、実施方法やPR活動を工夫し事業を継続します。また、青少年育成団体の各事業においては、関係団体と協力し、引き続き魅力ある体験活動機会の提供を進めます。

個別施策	3-11 家庭教育への支援
めざす姿	各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身につける教育が行われています。
施策担当課	学校給食センター、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館

成果指標の状況							
指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	77.8	73.2	—	—	82.0		85.0 以上
中学校	76.6	77.8	—	—	82.0		85.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R3・R4については実績値はありませんでしたが、施策の状況を把握するために、R5より全児童生徒を対象に独自で調査を行いました。 その結果、小学校では8.8ポイント、中学校では4.2ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学校行事等が活発に行われるようになったことから、家の人と話をする割合が増えたものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 教育相談の充実 こころの教室相談員及び家庭訪問相談員を配置し、子どもたちの進路や学業不振、友人関係のほか、いじめや不登校等の子どもの教育に関する悩みについての相談に対応しました。 相談員会議等を通して研修を深めるとともに、学校や関係機関との円滑な連携を図り、一人一人のニーズに合わせた継続的な支援体制を整えてきました。	 相談員会議で研修を深める様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)教育相談の充実 こころの教室相談員及び家庭訪問相談員を配置し、子どもたちの進路や学業不振、友人関係のほか、いじめや不登校等の子どもの教育に関する悩みについての相談に対応しました。
	(2)家庭教育力向上のための支援 学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、起床や食事の摂取状況を家庭において記録するためのシートを配布し、家庭への助言を行いました。 また、家庭に向けては「食育通信」の配布等を通じて、児童生徒の家庭における食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図りました。 そのほか、妊娠期からのおはなし会への参加の呼びかけや、乳幼児健診におけるブックリストの配布により、保護者への啓発活動を進めたほか、家庭における日常的な読書習慣の確立を目的に「家読」に取り組みました。
	(3)PTA との連携の促進 学校と家庭が連携して子どもたちの健やかな成長を育むため、各学校のPTA 間において情報交換を行いました。また、帯広市PTA 連合会への補助金の支出やPTA による各種事業の後援等、PTA 活動への支援を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)教育相談の充実 教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用を図るため、配置日数の調整等の工夫を進めるとともに、相談員会議等を通して研修を深め、相談業務の充実を図ります。
	(2)家庭教育力向上のための支援 学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、「おびひろ市民学」を中核として消費者教育・人権教育等様々な視点から啓発を進めます。また、家庭に向けて、図書館における絵本セットの内容の充実に取り組み、子育て世帯への支援を進めます。そのほか、ライフスタイルの変化による児童生徒の食生活の乱れを改善するため、「食育通信」の配布等を通じて食育を進めます。
	(3)PTA との連携の促進 家庭における教育力を高めるため、各校のPTA や帯広市PTA 連合会等との情報交換を進めるほか、関係団体への行政支援を継続し連携強化に取り組みます。

個別施策	3-12 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進
めざす姿	学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	19.2	19.2	19.2	32.0	30.8		100.0
中学校	21.4	21.4	14.3	30.8	15.4		100.0

＜成果指標の達成状況＞

R4と比較して小学校では1.2ポイント、中学校では15.4ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。小中学校において、それぞれの課題を共有しながら、授業交流や教職員による協議等、質を向上させるための取組を進めているものの、小中学校での協議時間の確保が難しく、授業への反映が十分に進んでいないことによるものと考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 幼保小中間の相互理解の推進 帯広市では、中学校区を1つのエリアとし、幼保小中間の相互理解を図る「帯広市エリア・ファミリー構想」を推進しています。 令和5年度については、5月に帯広市学校・家庭・地域協働会議を開催したほか、各エリアの代表者が集まり、学力向上や体力向上、生徒指導に関わる目標設定や共通の取り組みについて協議する、プロジェクトチーム会議を開催しました。	 プロジェクトチーム会議の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学校間の連携の推進 「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校において、それぞれ行われている教育への理解を深めるため、職員間交流を通じた情報共有を行いました。また、学びのつながりを意識した教育課程の編成を進めるため、エリア・ファミリーの代表者が集まり、学力向上、体力向上、生徒指導に関わる諸問題について協議し、エリア共通の取り組みを進めました。
	(2)通学区域の見直しの実施 小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保に関する取り組みと合わせ、通学区域の見直しについて検討を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校間の連携の推進 小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成を進めます。また、幼保・小・中における教育実践への相互理解を深められるよう、各エリア内における授業交流や乗り入れ授業を実施するとともに、学校の教員で構成される課題ごとの部会において、教育課題の共有や取組の共通化を図るなど、より詳細な情報共有や学校種間の連携強化を進めます。
	(2)通学区域の見直しの実施 小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保に関する取り組みと合わせ、通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しを進めます。

基本施策4 安全・安心な教育環境の整備

個別施策	4-13 誰もが安心して学べる教育の推進
めざす姿	障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。
施策担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課、学校教育指導課、教育研究所

成果指標の状況							
指標名	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	96.2	97.5	96.4	96.8	96.0		100.0
中学校	94.2	96.8	96.2	96.7	97.6		100.0

＜成果指標の達成状況＞

R4と比較して小学校では0.8ポイント減少し、中学校では0.9ポイント増加しました。小学校は基準値を下回りましたが、特別の教科道德を要とした各校における道德教育の充実や、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会等による啓発活動に取り組むことで、中学校を中心に一定程度の成果がみられたものと考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ ひろびろチョイスの運営 不登校児童生徒の多様な学びの機会を確保し、社会的自立につなげていくことを目的として、「Choice（選べる）」「Connect（つながる）」「Cheer（応援する）」の3つの「C」をコンセプトに、メタバース空間を活用した「ひろびろチョイス」を創設し、オンライン形式と集合形式による多様な学びを提供しました。令和5年度は139人が在籍しており、相談員や指導主事、関係機関との連携により、個別学習や教育相談、体験学習等を行いました。	 仮想空間に教室開設する「ひろびろチョイス」の様子
◆ 市内小中学生いじめ・非行防止合同サミットの開催 6月に市内の小中学生100人以上が参加して、オンラインで「一人一人が笑顔で楽しく過ごせる学校」をテーマに、自分たちのエリアではどのような活動を行えばよいか協議しました。 また、協議内容を踏まえ、各エリアにおいて、笑顔で過ごせる学校となるための7月以降の取り組みについて検討し、参加者からは、挨拶運動等、児童会生徒会が連携した取組のアイデアについて意見が出されました。	 オンラインで行った「市内小中学生いじめ・非行防止合同サミット」の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)いじめ・非行の防止 道徳科の学習を要として、子どもたちがいじめや人権について皆で考え、議論する場を設け、意識向上に取り組んだほか、市内小中学生いじめ・非行防止合同サミットを開催し、児童会生徒会主催の取組を協議するとともに、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会等による啓発活動を行いました。また、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施しました。
	(2)不登校への対応 不登校傾向の子どもに対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、こころの教室相談員、家庭訪問相談員等と連携し、子どもや保護者からの相談対応や助言等を行いました。また、子どもの自立や学校生活への復帰を支援するため、教育支援センターの運営、教育相談、個別学習や一人一台端末を活用したオンライン授業等に取り組みしました。
	(3)教育機会の確保 経済的な理由により児童生徒の就学が困難な保護者へ就学援助費を支給したほか、奨学資金の貸与を通じて、大学等への就学を支援しました。また、農村地域で遠距離通学となる児童生徒への支援としてスクールバスを運行しました。そのほか、市内高等学校の間口確保のため、「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」に出席し、情報収集を行いました。
	(4)一人一人に応じた教育の充実 個別の指導計画及び教育支援計画の作成、関係機関・保護者との情報共有や特別支援教育に係る教員の知識・技能の習得を進めたほか、LGBT等の当事者を招いた研修の実施、特別支援学級の設置やアイヌ子弟の遠隔地での就学支援のための扶助費支給等により、支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備に取り組みしました。また、学力の向上、健やかな成長のため、豊かな自然環境を生かした特色ある教育活動を実施する小規模特認校制度を推進しました。
課題及び今後の方向性	(1)いじめ・非行の防止 いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備を進めるほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組みます。
	(2)不登校への対応 家庭や児童生徒の悩みの複雑化、原因の多様化が見られるため、教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化を進めます。また、一人一人の社会的自立を支援できるよう、教育支援センターに創設したメタバース空間「ひろびろチョイス」を活用し、幅広いニーズに応えます。
	(3)教育機会の確保 他地域の事例を参考にしながら就学や通学に関わる経済的な支援を行います。また、スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討するほか、市内高等学校の間口を維持・確保するため、会議等の機会を通して、情報収集や要望活動を行います。
	(4)一人一人に応じた教育の充実 障害や学習において困り感を抱えた子どもたちが、一人一人の特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備を進めます。 また、教職員向けの研修により、今日的な課題であるLGBT等やHSC（Highly Sensitive Child）、ヤングケアラー、障害のある児童などへの理解促進の取り組みを進めます。

個別施策	4-14 安全で充実した教育環境の整備
めざす姿	安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。
施策担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課、南商業高等学校

成果指標の状況							
指標名	長寿命化改修の実施校数（校）						
区分	基準値 【H30】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	0	0	1	1	1		9
＜成果指標の達成状況＞ R4 と比較して同数値であり、目標値に向けて進捗していませんが、今後の長寿命化改修に向け、南町中学校の基本設計を実施しました。 ※実績値は、長寿命化改修工事を実施した累積の学校数です。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 小学校机・椅子の更新 全小中学校において、「軽くて運びやすく」「傷付きにくい」スチール製の机・椅子への計画的な更新を実施しており、令和5年度は小学校1・2年生21校分2,220セットの更新を行い、全小中学校での机・椅子の更新が完了しました。	 スチール製机椅子
◆ 旧大空小学校の解体工事（1期）の実施 大空学園義務教育学校の開校に伴い、旧大空小学校の解体工事を令和5年度から6年度にかけて行っています。令和5年度は石綿含有建材除去、解体工事を実施しました。	 大空小学校 解体写真
◆ 教材教具整備事業 教育振興基金を活用し、ピアノや木琴、サッカーゴール等を更新したほか、トロンボーンや鉄棒の修繕を行うなど、高額な教材・教具について整備を進めました。	 設置されたグランドピアノ

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 学校施設の整備 小中学校において、煙突用断熱材除去（小学校 2 校）、屋内運動場屋根改修工事（小学校 1 校）のほか、個別改修を行いました。また、旧大空小学校の解体工事（1 期）、南町中学校長寿命化改修の基本設計、小学校のエアコン設置に向けた事前調査を実施しました。南商業高等学校においては、特別教室等に網戸を設置、屋内運動場バスケットゴール等を修繕しました。
	(2) 学習環境の整備 学校 ICT ヘルプデスクを通じて、小中義務教育学校に配置した児童生徒の一人一台端末などの維持管理を行ったほか、小学校 1・2 年生 21 校分の机・椅子の更新を行いました。 国の事業を活用し、換気対策等と目的として、小中義務教育学校へのスポットクーラーの整備や南商業高等学校への窓枠エアコンを整備しました。
	(3) 学校適正規模確保の推進 「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画」に基づき、学校の小規模化の影響がより顕著に生ずる可能性のある学校を対象に、近隣校との交流授業等を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1) 学校施設の整備 「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ継続的な修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に取り組みます。
	(2) 学習環境の整備 小中義務教育学校においては、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成を図るため、学校生活等における一人一台端末の活用範囲の拡大を進めます。
	(3) 学校適正規模確保の推進 児童生徒数及び学級数を毎年度推計し、結果について市民へ情報提供します。また、小中学校適正規模の確保については、学校の小規模化による影響の緩和を図る取り組みを進めます。

(2) 基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

基本施策5 自ら学びともに支える生涯学習の推進

個別施策	5-15 学習活動の促進
めざす姿	誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	95.5	96.9	93.5	90.8	94.0		100.0

＜成果指標の達成状況＞
R4と比較して3.2ポイント増加しており、基準値は下回っているものの、目標値に向けて進捗しています。各種講座の参加人数の制限を設けずに開催したほか、新しい分野、形式での実施に取り組んだことによるものと考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 朗読グループによる「朗読劇」の開催 図書館では、主に市内で活動する朗読グループ「東館千鶴子ろうどくの会」と共催し、朗読劇「日本の名作・世界の名作」を実施しました。 昔話「うばすて山」や小説「最後の葉」を上演し、参加者は、音声だけの表現に耳を澄まし、日本語の奥深さを味わいました。	 朗読劇「日本の名作・世界の名作」の様子
◆ 博物館講座 百年記念館では、館の調査・研究の成果や十勝・帯広に関わる多方面の最新研究情報を市民にフィードバックする博物館ならではの事業として、博物館講座を12回実施しました。 令和5年度は330人が受講し、地域に根差した多様な学びを市民に提供する機会となりました。	 博物館講座「学芸員のしごと 学芸活動報告会」の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座では、45 講座開催し、延べ 1,500 人の参加がありました。また、生涯学習情報誌「まなびや」及び小学生向けの「まなびや特別号」の発行を行い、生涯学習活動やイベントの情報提供を行いました。 図書館では、社会教育施設と連携し、子ども向け講演会やプラネタリウムおはなし会を開催しました。 百年記念館では、調査・研究を活かした博物館ならではの事業として、博物館講座や郷土学習見学会を開催しました。 動物園では、SNS を活用して積極的に情報発信を行ったほか、飼育体験や裏側探検隊などの講座等を実施しました。
課題及び今後の方向性	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座については、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、オンライン配信や開催時間の工夫、わかりやすい情報発信などにより、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」により、情報提供を行います。 図書館においては、社会教育施設に限らず他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に拡大し、厚みのある事業に取り組みます。 百年記念館においては、博物館関係機関・施設等との連携を図りながら効率的・効果的な講座の開催、展示の企画に取り組みます。 動物園においては、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実を進めます。

個別施策	5-16 学習を通じたまちづくり
めざす姿	学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.3	21.5	25.4	26.2	28.5		31.0 以上
<成果指標の達成状況> R4 と比較して2.3 ポイント上回り、着実に割合が増加しており、目標値に向けて進捗しています。工夫を図りながら事業を再展開したことで、市民の自主的な活動が増加していることによるものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 学生によるボランティア活動推進 帯広畜産大学の学生ボランティアによる動物とのふれあい事業のサポートや広報誌作成サポートのほか、独自のイベントの企画、実施により来園者サービスの充実に取り組みました。 動物園では、学生ボランティアの自主性を促しながら、学生の持つ自由な発想や想像力を生かした活動の場を提供しました。	 学生ボランティアによる「モルモットとのふれあい」の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)自主的な学習活動の支援 図書館では、読み聞かせの技術向上のための「語り手育成講習会」を開催したほか、読み聞かせや朗読ボランティアと共催で事業を実施し、活動機会の提供をするとともに、協働し市民への読書活動の推進に取り組みました。 百年記念館では、資料整理をはじめとした、博物館での活動において得た知識や経験をもとに、ボランティアの自主性を促しながら高齢者学級等で出前のレコードコンサートを企画・開催しました。 動物園では、学生ボランティアとの連携を図り、来園者と動物とのふれあいのサポート等、活動の場を提供しました。 生涯学習推進委員会では、各地区ごとに多様な「コミュニティ講座」を開催し、地域の生涯学習活動の関心や意欲の向上、地域住民間の交流機会の活性化に取り組みました。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度のもと、教養・文化・スポーツ等の様々な分野において個々の能力を発揮して活躍する人物を指導者として登録したほか、地域における生涯学習活動の支援のために情報を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)自主的な学習活動の支援 図書館においては、ボランティアと情報交換を図りながら、知識技術の向上や活動に対する相談やアドバイスを行い、相互連携を進めるとともに、活動を支援します。 百年記念館においては、ボランティアの知識向上のために研修会等、学習機会の確保を進め、学習で得た知識を活かした新たな活動の場を提供するほか、養成講座を開催し、ボランティア活動を行う人員の充実に向けて取り組みます。 動物園においては、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援します。 地域の生涯学習活動においては、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で実施する様々な活動の支援に取り組みます。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用を図るため、市ホームページやSNS を効果的に活用しながら情報発信の強化を図り、登録者数の確保に取り組みます。

個別施策	5-17 社会教育施設の整備・管理運営
めざす姿	社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	96.5	97.3	92.3	91.0	94.1		100
＜成果指標の達成状況＞ R4と比較して3.1ポイント増加しており、基準値は下回っているものの、目標値に向けて進捗しています。新たな設備の導入や実施事業の内容充実によるものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 児童会館でのリアルジオラマ展示 児童会館では、寄贈いただいた昭和50年代の中心市街地を再現したジオラマの常設展示コーナーを、令和5年11月に開設しました。 専用のアクリルケースの台を整備することで、通年でご覧いただけるようになり、帯広のまちや歴史、ものづくりに対する興味関心を高める機会を継続して提供しています。	 リアルジオラマ（旧帯広駅前）
◆ 馬ふれあい舎の整備 おびひろ動物園の魅力アップ（方針）に基づき、十勝おびひろの特色を活かした展示、地域に根ざした学習機会の提供するため、使用されていなかった旧ラクダ舎を解体し、新たに馬ふれあい舎を整備しました。 整備後、ばん馬2頭を導入し、馬に触る、写真を撮るなど、来園者が馬と触れ合う機会を提供することが可能となりました。	 馬ふれあい舎でばん馬と触れ合う入園者の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 とかちプラザでは、外壁改修工事、空調機中央監視装置設計委託、レインボーホールパワーアップ更新を実施しました。 図書館では、自動ドア装置修繕、車庫シャッター修繕等を実施しました。 百年記念館では、受変電設備高圧機器改修工事等を実施しました。 児童会館では、蛍光管照明のLED化等に着手しました。 動物園では、「おびひろ動物園の魅力アップ（方針）」に基づき、馬ふれあい舎やビジターセンター、東側トイレを整備したほか、新キリン舎の整備に着手しました。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザでは、親子向けの夏まつりイベントや学習成果発表の場となるプラザまつりなど、多くの事業を実施し、幅広い年齢層の方へ学習機会を提供しました。 図書館では、こどもの本の森のベンチを修繕し、安全・安心して過ごせる環境を整備しました。 児童会館では、昭和50年代の中心市街地のジオラマ常設展示コーナーや「デジタル遊具コーナー」を開設しました。 百年記念館では、基本的な感染症対策を講じながら、学習機会を提供しました。 動物園では、感染対策を講じながら一日飼育係やおびZoo探検隊等の講座を実施しました。
課題及び今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 多くの社会教育施設では、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通じて、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザにおいては、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。 図書館においては、適切な管理運営と図書館サービスの向上に取り組みます。 児童会館においては、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催するほか、学びと遊びの機能の充実に取り組みます。 百年記念館においては、アンケートを用いて利用者ニーズを確認、多様な学習機会を提供し、効果的かつ効率的に管理運営を進めます。 動物園においては、全ての人にやさしい、地域に根差した施設整備を実施し、動物福祉の向上や飼育体験等の学習機会の充実に取り組みます。

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

個別施策	6-18 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働
めざす姿	文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	64.7	45.1	43.4	51.1	56.1		65.0以上
＜成果指標の達成状況＞ R4と比較して5.0ポイント増加し、基準値を下回っているものの、目標値に向けて進捗しています。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、市民の文化芸術活動が活発になったこと等が要因と考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 第42回おびひろ市民芸術祭の開催 帯広市内で文化活動をしている個人や団体が、練習や創作の成果を発表し、多くの人に気軽に鑑賞してもらうことを目的に、市民芸術祭を開催しました。 音楽や舞踊、美術、書道、写真等、幅広いジャンルの文化団体や個人が日頃の活動の成果を発表しました。 55団体739人が参加し、24,871人が来場しました。	 第42回おびひろ市民芸術祭での ステージ舞踊の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)市民文化芸術活動の促進 市民主体の文化芸術活動を支援するため、日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や、地元出身・在住の新進若手演奏家による「新人演奏会」を開催しました。また、積極的に創作活動に励む子どもたちが、将来「市民文藝」への応募に続くよう、とかちジュニア文芸第 14 号を発刊しました。このほか、市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を行いました。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用し、文化団体の情報提供を行いました。また、文化活動を行う人材・団体の育成のため、文化賞及び文化活動功労賞に、優秀な文化芸術活動を行う 2 個人を表彰したほか、文化活動への支援として事業補助・大会派遣補助を行いました。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 基本的な感染症対策を継続しながら、さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施することで、市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供しました。また、北海道立帯広美術館の特別企画展「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界」に参画し、市民が身近に芸術・文化に親しめる環境づくりに取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)市民文化芸術活動の促進 市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業を継続するほか、子どもたちの創作意欲をさらに高め、読解力・表現力の向上を図るため、「とかちジュニア文芸文章教室」を開催します。そのほか、市民の文化芸術活動を支援するため、今後も学校施設の開放事業を行います。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行います。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 市民の文化芸術への関心を高めるため、基本的な感染症対策を継続しながら、鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組みます。また、市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画します。

個別施策	6-19 文化資源の継承・活用
めざす姿	歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。
施策担当課	百年記念館

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	2,161	1,728	1,638	2,021	1,852		2,269 以上
<成果指標の達成状況> R4 と比較して 169 件減少しており、目標値に向けて進捗していません。文化財・史跡等への訪問機会の減少が影響したものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 文化財の保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行ったほか、文化財を活用する事業として、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号の公開を行いました。 令和5年度は、ぶらり帯広・文化財めぐりに 18 人が参加、十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号公開には 109 人が来場し、市民に広く文化財を公開する機会となりました。	 十勝鉄道機関車 4 号及び客車コハ 23 号公開の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)文化財等の調査・保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行いました。また、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整を行ったほか、重要文化財「八千代 A 遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成に取り組みました。文化財を活用する事業としては、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号の公開を行いました。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 「帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金」により活動の補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施しました。
	(3)市史資料収集・保存 令和 4 年度の出来事をまとめた「年史報告書」を作成しました。また、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1)文化財等の調査・保存・活用 今後も文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行います。また、文化財を活用する事業を継続して実施するほか、「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、専門業者による修理・美装化を実施できるよう、計画的に取り組めます。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助、及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組めます。
	(3)市史資料収集・保存 「年史報告書」を作成に取り組むとともに、令和 14 年度に迎える帯広市開拓 150 年・市制施行 100 年を見据えて、資料収集事業に取り組めます。

個別施策	6-20 文化施設の整備・管理運営
めざす姿	市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。
施策担当課	生涯学習文化課、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【H26～H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	83.0	84.3	87.6	97.0	97.0		88.0 以上
<成果指標の達成状況> R4 と同じ水準で、目標値を達成しています。計画的な修繕や利用者の声を反映し、施設サービスの改善を進めたことなどが評価されたものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 市民文化ホールの改修 市民文化ホールは、市民の文化芸術活動の発表や鑑賞の拠点施設として、多くの市民に利用されており、施設の特徴を踏まえながら、安全性や緊急性を考慮し、長寿命化等に向けた計画的かつ効率的な修繕・更新を進めていく必要があります。令和5年度は、株式会社六花亭様から寄贈いただき、小ホールの客席椅子 512 席を更新したほか、小ホールの照明操作に必要な調光操作卓の更新を実施し、施設の機能維持を目的とした施設整備を進めました。	 更新後の市民文化ホール小ホール客席

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、市民文化ホールの小ホール椅子の更新及び小ホール調光操作卓の更新を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 市民文化ホールでは、新型コロナウイルス感染症が５類に移行し、市民の文化芸術活動が活発になったことに加え、継続して安心安全に利用できる環境づくりに取り組んだ結果、利用者は前年度より増加しました。また、指定管理者による利用者ニーズを意識した適切な管理運営により、施設利用者の高い満足度が得られています。そのほか、市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を図りながら、効果的・効率的な管理運営に取り組みました。
課題及び今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 文化施設においては、大半の施設で供用開始から３０年以上が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、優先順位を勘案しながら、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 感染症の影響により大幅に減少した、施設利用者数や使用料・利用料金収入は回復傾向にありますが、利用規模の小規模化や物価高騰等による運営経費の増大が課題となっています。また、旧長崎屋帯広店との契約満了に伴い、令和６年度より代替駐車場に変更となることによる利用状況への影響が懸念されます。引き続き、指定管理者と連携しながら、利用状況を注視し、安定的な管理運営と利用者サービスの向上に取り組めます。

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

個別施策	7-21 多様なスポーツ活動の促進
めざす姿	誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	21.0	18.1	17.6	16.5	15.1		22.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R4 と比較して 1.4 ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。指導者不足や、スポーツ種目や習い事の多様化などが要因と考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ スケート競技の振興（講習会・教室開催） スピードスケート競技の裾野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施しており、令和5年度は、各年代に応じた競技者向けの講習会「スケートキングダム」や、初心者向けには幼児対象や小学生対象のスケート教室を開催しました。	 スケートキングダム（小中学生）の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) スポーツの振興 スポーツ振興及び更なる競技力の向上を図るため、競技大会への選手等の派遣支援等を行いました。また、スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、スポーツ賞において2個人・1団体、スポーツ奨励賞において6個人・3団体を表彰しました。そのほか、各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民への観戦機会を提供しました。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 スポーツ少年団本部及び競技団体である帯広市スポーツ協会への支援を実施したほか、スポーツ少年団指導者育成の支援を行いました。
	(3) スケート競技の振興 スピードスケート競技の裾野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、競技者育成及び地域応援体制の整備を行ったほか、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1) スポーツの振興 競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進めます。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 各団体への支援を通じて指導者の育成を図り、少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組みます。
	(3) スケート競技の振興 スピードスケートをはじめとした地域における各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を行います。また、スピードスケート教室に対する地域の需要が高いことから、「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放などを通して、スケート競技の普及促進に取り組みます。

個別施策	7-22 スポーツによる活力のあるまちづくり
めざす姿	誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	1年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	82.4	82.0	90.1	95.9	94.0		87.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R4と比較して1.9ポイント減少しましたが、目標値を達成しています。スポーツイベント・教室等の開催や総合型地域スポーツクラブの支援を実施し、気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めてきたほか、市内における各種国際・全国・全道大会やプロスポーツの試合等の開催などにより、人々のスポーツへの関心が高まったことによるものと考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 全国高等学校総合体育大会の開催 全国高等学校総合体育大会は、学校対抗で行われる高校生スポーツの総合体育大会であり、夏季大会と冬季大会が開催されています。令和5年度夏季大会が北海道で開催されるにあたり、帯広市では、女子サッカー、剣道、アーチェリーの3競技が開催され、監督・選手・コーチ2,008人、役員・補助員866人、観客8,853人の参加がありました。	 アーチェリー競技の様子
◆ スケート国際大会等誘致・開催 国内2例目の屋内スピードスケート場を有する帯広市において、国際大会を誘致・開催することにより、国際的なスポーツ交流拠点の形成を進めるものです。 令和5年11月には、2023/2024 ISU ワールドカップスピードスケート競技大会・帯広大会を開催し、選手24か国230人、観客4,141人の参加がありました。	 開会式の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 地域スポーツの振興 スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室を 56 回開催し、延べ 1,619 人が参加しました。また、地域住民が自ら企画・運営する 6 つの総合型地域スポーツクラブの運営支援を行ったほか、スポーツフェスティバルを開催し、25 種目 2,734 人が参加しました。そのほか、市民が身近な場所でスポーツ活動を行うことができるよう、学校施設を開放し、延べ 168,326 人が利用しました。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 情報発信や競技団体と連携し、日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会をはじめとする国際・全国・全道大会等の誘致を進めるとともに、開催支援を実施したほか、プロスポーツの誘致に取り組みました。また、フットバレーとかちマラソン大会は、5,024 人がエントリーしました。
課題及び 今後の方向性	(1) 地域スポーツの振興 総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などを通じて、市民が気軽にスポーツに親しむ機会づくりに取り組みます。学校施設のスポーツ開放については、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと情報発信を行います。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進めます。

個別施策	7-23 スポーツ施設の整備・管理運営
めざす姿	スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人々がスポーツ施設を活用しています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	77.3	82.7	80.4	93.9	96.8		82.0 以上
<成果指標の達成状況> R4 と比較して2.9 ポイント増加し、目標値を達成しています。実績値の基としているアンケートの回答項目の「施設内の雰囲気良さ」と「運動用具・器具の数量の充実さ」について、いずれもR4 より割合が増加しており、施設の適切な管理運営が行われたことが、利用者の満足度に繋がったものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 帯広の森体育館整備 帯広の森体育館の第1 体育室において、施設の安全性向上のため、特定天井対策として軽量天井への改修を行い、併せて照明のLED 化及び床の張替え工事を行いました。	 特定天井対策・照明LED化改修工事

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、帯広の森陸上競技場走路・助走路等修繕、帯広の森市民プールろ過装置残留塩素濃度計交換修繕、帯広の森体育館特定天井対策・照明LED化改修工事、帯広の森運動施設高圧ケーブル等改修工事を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 スポーツ施設においては、多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間活力を生かした指定管理者制度を導入しています。また、パークゴルフ場においては、指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 スポーツ施設の多くが供用開始から30年以上経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度、及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組みます。

4 教育に関する学識経験者の意見

認定こども園つつじが丘幼稚園 園長 杉本 伸子

(帯広市立明星小学校 元校長)

帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）の4年目である令和5年度の取り組みについては、令和4年度の課題や方向性を受け、その改善に誠意努力された様子が伝わり、施策の推進とともに適切・的確であると判断いたします。

基本施策1 帯広の明日を拓く力の育成「ふるさと教育の推進」では、生まれ育った帯広市への誇りと愛情を育む取り組みとして、「おびひろ市民学」による学びの推進と食を通してふるさと理解を深めている姿を評価します。特に、アレルギー児の増加や食材費高騰の中、子どもたちが最も身近に感じている給食を題材に、給食センターと連携した帯広らしい食育プログラムや「ふるさとの日」等の取り組みを継続している点を評価します。今後も、できる限りの地産地消に取り組むと共に、地域社会に参画する意識の醸成を図る教育が推進されることを期待します。

基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成「学びを生かす力の育成」における、一人一台端末を活用した学習は、この1～2年のうちに教室での学びを一変させました。個別最適な学びや協働的な学びが、ICTの中でも自由な広がりを持って進められていること、帯広市として一定の水準をもって全小中学校や南商業高校で取り組まれていることを評価します。また、帯広市図書館と連携した「ぶっくーる便」や児童会館を利用した科学的な学びの体験等も、帯広市の教育として定着し、大切に継続されている点も高く評価します。今後は、長期にわたり「帯広の子どもの学力」としてまとめられている学力の分析・検証を今一度、更なる学力向上に向け、新たな観点から再考されることを期待します。

「教員の資質・能力の向上」では、授業内容がよくわかると思う子どもの割合が昨年度に比べ減少しています。授業での端末利用について、教師サイドのスキルが追いついていないことが原因の一端であるように考えます。しかし、様々な研修が着実に進められていますので、その成果が必ず現れると期待しています。また、校務支援システムの導入により、教職員の働き方が少しずつ改善されている点を評価します。

基本施策4 安全・安心な教育環境の整備「誰もが安心して学べる教育の推進」における、不登校児童生徒の多様な学びを確保する「ひろびろチョイス」と通える場所としての「ひろびろ」は、外部との繋がりを喪失しやすい子どもを支援する一助となっている点を評価します。障害や困り感をもつ子どもたちのニーズに応えられる特別支援教育の一層の充実を期待します。

令和元年度から流行した新型コロナウイルス感染症により、教育現場は様々な変革を余儀なくされました。しかし、その間にICTの活用を推進するなど、教育の歩みを止めないための不断の努力を進められたことが令和5年度の個別施策の数々から感じられました。感染症が5類に移行した今後、帯広市の未来をつくる人づくりのため、2つの基本目標を柱に、市民一体となった教育が発展することを期待いたします。

帯広市社会教育委員 副委員長 久保田 博己

帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)の4年目にあたる令和5年度の取り組みについては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、活動の制限がなくなったこともプラスの要因のひとつとなり、多くの項目で目標値に向けて進捗しており、適切であると判断いたします。

「帯広の明日を拓く力の育成」では、活躍する人材育成のため、地域や環境を学ぶ機会や各種団体と連携して働くことの意味、仕事の楽しさを学ぶ機会を増やし、体験活動やリーダー研修を通して地域社会の一員としての意識づくりを育むことが必要と考えます。特に防災・減災意識の啓発を進めて、まちづくりの参画者としての意識づくりを推進することを期待します。また、情報モラルについての正しい知識を身につける学習機会の提供や教育課程を進め、著作権やプライバシー保護などについて理解を深める取り組みが推進されることを期待します。

「変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成」では、道徳教育の充実を図るため、地域人材やゲストティーチャーを積極的に活用することが望ましいと考えます。また、市内に書店が少なくなっていることから、子どもたちの情操教育推進のため、朝読書や学校図書の活用、司書、図書ボランティア、図書館との連携を一層進められることを期待します。また、ICT活用のため、電子書籍の利用促進と拡充を期待します。

「地域とともに育む教育の推進」では、コミュニティ・スクールを中心として家庭、地域、学校協働による「地域とともにある学校づくり」が活性化することを期待します。子どもを注意深く見つめ、地域で子どもを育てる意識を育むため、こころの教育相談員、家庭訪問相談員など、子どもや保護者の悩みについての相談対応が出来る体制があることの周知・啓発に継続して取り組むことが必要と考えます。また、各学校PTAと協力して、家庭における基本的な生活習慣の確立に向けた取り組みを進められ、家庭、地域、学校の連携強化が推進されることを期待します。

「安全・安心な教育環境の整備」では一人一人に応じた教育を進めるために、個別の指導計画及び教育支援計画の作成は重要であり、継続した取り組みが必要と考えます。支援や配慮が必要な子どもたちの理解促進のためにも、関係機関・保護者・他の子どもたちへの研修、相談対応を繰り返し、一人一人に応じた教育が充実されることを期待します。また、不登校の児童生徒の個別の悩みや原因に対応するための相談体制の一層の充実と、あわせて、社会的自立を支援するためのメタバース空間「ひろびろチョイス」のさらなる活用に期待します。

「自ら学びともに支える生涯学習の推進」では、幅広い年齢層、ニーズに合わせた講座の設定が一層進むことを期待します。とかちプラザ、図書館、百年記念館、児童会館、動物園など各社会教育施設で多種多様な講座を開講し、個人が能動的に学ぶ機会を広く公開することで、より多くの人たちに学びの場を提供し、学びを通じた仲間作りの促進と、今後のボランティア活動を行う人材の育成が図られることを期待します。

新型コロナウイルス感染症の影響による、過去3年間の遅れを取り戻すのは大変ですが、個人個人が知恵を出し合い、行動して、実行して、基本目標の実現に向けて着実に施策が推進されることを期待します。

参 考 資 料

○ 令和5年度教育行政執行方針(抜粋)

1. 基本的な考え方

学校教育においては、9年間の義務教育期間を通して、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った教育や教職員の業務の効率化を推進するため、教育デジタルトランスフォーメーション(DX)を進めるほか、これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスにより、児童生徒一人ひとりが持つ力や可能性の最大限の発揮につながる学習活動と教育環境の整備を進めてまいります。

生涯学習においては、各世代のニーズに対応した学習機会の充実や主体的に学べる環境整備をすすめるとともに、学んだ成果と意欲が地域課題の解決に活かされる生涯学習社会の実現に向けて取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症については、引き続き、基本的な感染症対策の徹底を図りながら、子どもたちの心身のケアに適切に対応するほか、学習・文化・スポーツ活動などの機会の確保を図ってまいります。

2. 主な取り組み

(1) 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり

学校教育については、エリア・ファミリー構想を基盤とした小中一貫教育の推進を図り、9年間の学びの連続性による学力向上や心の育みに取り組むほか、「おびひろ市民学」の着実な実施を通し、ふるさと帯広が有する豊かな自然環境や歴史・文化・産業等についての子どもたちの理解を促進してまいります。

また、デジタル技術の活用を通し、不登校児童生徒の多様な学びの機会の確保を図るほか、双方向性のあるコンテンツのプログラミング学習教材の導入など、ICTを活用した教育環境の整備を進めてまいります。

さらに、校務支援システムを活用し、児童生徒一人ひとりの能力や学力等を的確かつ効率的に分析するとともに、教職員の事務に係る負担を軽減するほか、コミュニティ・スクールの活動を推進し、地域との協働による学校を応援する体制づくりを図ってまいります。

施設整備については、引き続き、老朽化への対応や、長寿命化改修等を進め、教育環境の充実に努めるほか、帯広市学校施設長寿命化計画に基づく南町中学校の長寿命化改修に向けた基本設計を実施してまいります。

また、学習環境の充実として、教材備品や小学校の机・椅子の更新を進めてまいります。

学校給食については、新たなメニューの開発を進めるほか、給食に関する標語の募集等を通じて、食への理解を促進し、生産者等への感謝の気持ち、地域への愛着を育みながら、食育を推進してまいります。

また、食材価格の高騰に伴う保護者負担を増やすことなく、安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供してまいります。

青少年の健全育成については、地域ボランティアや青少年育成団体と連携した体験活動を進めるほか、関係機関と協力し、青少年の非行防止活動に取り組んでまいります。

帯広南商業高等学校については、十勝管内唯一の商業教育専門高校として、実践的な特色ある教育活動を通し、ビジネスの知識・技能を活かした地域に貢献できる人材を育成してまいります。

（２） 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

生涯学習の推進については、児童会館で昭和５０年代の帯広市街地中心部の精巧なジオラマを常設展示し、子どもたちをはじめ、市民にふるさとの歴史を伝えてまいります。

また、おびひろ動物園では、ビジターセンターの寄附に伴い、休憩コーナーやキッズスペース、電子案内板の設置などの施設整備を行うとともに、動物たちが生き生きと暮らせる環境づくりと展示の充実を図り、豊かな情操を育む教育の場を提供してまいります。

文化芸術活動の推進については、市民芸術祭や道立帯広美術館と連携した事業など、市民主体の文化芸術活動の支援や優れた芸術鑑賞の機会を提供してまいります。

スポーツ活動の推進については、ツール・ド・北海道２０２３の開催支援や、全国高等学校総合体育大会３競技の開催に向け、大会準備、選手関係者の受け入れ等、円滑な大会運営を進めていくほか、帯広市スポーツフェスティバルやフードバレーとかちマラソンなど各種イベントの開催を通じて、市民が多様な形でスポーツに親しむ機会を提供してまいります。

また、帯広市民文化ホールについては、小ホール座席の寄贈をいただきリニューアルを行うほか、とかちプラザ、帯広の森体育館など、計画的な設備更新や施設改修などによる長寿命化を実施し、コスト縮減に取り組みながら適切な管理運営に努めてまいります。

○ 令和5年度予算決算

資料2

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
教育費	10,073,869,475	6,928,202,736	2,832,077,468	313,589,271	
教育総務費	314,307,000	283,027,721	0	31,279,279	
教育委員会費	4,935,000	4,826,810	0	108,190	教育委員報酬及び会議等の出席に係る旅費等
事務局費	164,896,000	143,784,044	0	21,111,956	事務局運営費、教職員管理費、奨学金貸付事業、学生支援給付金事業等
地域連携費	69,867,000	64,040,703	0	5,826,297	学校運営協議会運営費、子どもの居場所づくり事業費、こども学校応援地域事業費等
指導研修費	28,117,000	26,697,748	0	1,419,252	教育相談員・外国人講師に係る報酬、いじめ・不登校・非行対策事業費等
教育研究所費	14,870,000	14,404,518	0	465,482	所員報酬、教育研究所運営費等
教職員住宅費	31,622,000	29,273,898	0	2,348,102	教職員住宅の修理費、教職員住宅の建設工事費等
小学校費	3,496,896,000	1,175,883,266	2,218,397,600	102,615,134	
学校管理費	862,164,000	779,173,330	0	82,990,670	小学校管理費、プール・リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	51,870,000	51,352,892	0	517,108	学校営繕費
教育振興費	256,793,000	245,125,931	0	11,667,069	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育環境デジタル化推進費等
施設整備費	2,326,069,000	100,231,113	2,218,397,600	7,440,287	学校・学習環境整備費、リニューアル改修事業費、学校施設空調整備事業費
中学校費	1,148,713,000	931,704,149	171,196,400	45,812,451	
学校管理費	381,848,000	359,559,709	0	22,288,291	中学校管理費、リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	27,620,000	27,381,542	0	238,458	学校営繕費
教育振興費	204,053,000	195,675,382	0	8,377,618	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育環境デジタル化推進費等
施設整備費	535,192,000	349,087,516	171,196,400	14,908,084	学校・学習環境整備費、大空地区義務教育学校整備費、南町中学校整備費
高等学校費	105,610,400	94,512,631	0	11,097,769	
学校管理費	69,632,000	59,333,682	0	10,298,318	南商管理費、学校保健事業費、国際理解教育推進事業費等
学校営繕費	8,872,400	8,872,400	0	0	南商営繕費
教育振興費	24,653,000	23,952,549	0	700,451	教材教具購入費、学習環境管理費、キャリア教育推進費
施設整備費	2,453,000	2,354,000	0	99,000	学校環境整備費

科 目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
社会教育費	1,866,221,100	1,380,065,302	442,483,468	43,672,330	
社会教育総務費	9,683,000	7,910,523	0	1,772,477	社会教育委員等報酬、講座開催経費等
文化振興費	35,951,000	35,250,286	0	700,714	文化団体等補助金、事業開催負担金、文化財経費等
とかちプラザ費	267,094,100	265,769,463	0	1,324,637	とかちプラザ管理費、施設修繕等
市民文化ホール費	244,706,000	241,888,252	1,379,024	1,438,724	市民文化ホール管理運営費、施設修繕等
百年記念館費	72,936,000	68,057,570	0	4,878,430	百年記念館管理運営費、施設修繕等
図書館費	165,481,000	154,414,954	0	11,066,046	図書館管理運営費、図書資料等整備費、図書館資料デジタル化事業費等
児童会館費	55,787,000	53,662,883	0	2,124,117	児童会館管理運営費、野草園管理運営費、行事・実習関連経費等
農業体験実習館費	4,793,000	4,586,285	0	206,715	農業体験実習館費
動物園費	978,926,000	518,678,220	441,104,444	19,143,336	動物園管理運営費、遊具管理費、施設修繕等
市民ギャラリー費	30,864,000	29,846,866	0	1,017,134	市民ギャラリー管理費
保健体育費	3,142,121,975	3,063,009,667	0	79,112,308	
保健体育総務費	273,908,000	260,459,130	0	13,448,870	スポーツ行事・活動関係経費、団体育成・大会開催費、学校開放経費、指導者育成経費等
体育施設費	1,796,809,000	1,765,426,336	0	31,382,664	社会体育施設管理運営費、施設修繕・改修費等
学校給食センター費	1,071,404,975	1,037,124,201	0	34,280,774	学校給食センター管理費、賄材料費、委託料、学校給食食育推進費等

※翌年度繰越額は、繰越明許費

○ 令和5年度における主な取り組み一覧

(1) 帯広の明日を拓く力の育成

① ふるさと教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域資源を活用した ふるさと理解の促進	9年間を通した「おびひろ市民学」の実施、郷土体験学習（小学4年生対象）、児童会館科学展示室（入場者 32,966人）、ジオラマ展「昭和のおびひろ 2023」（5,714人）、埋蔵文化財センターの活動、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動、小学生のための動物園塾（1回、10人）、おびZoo 寺子屋（4回、65人）、ほっとドリームプロジェクト（延べ2,654人参加）
食を通じたふるさと 理解の促進	「ふるさと給食」の実施、学校給食をテーマとした標語コンテストを開催、ふるさと農園の実施（啓北小・光南小・清川小）、「おびひろ市民学」による「帯広らしい食育プログラム」の実施
地域社会に参画する 意識の醸成	地域子ども会リーダー宿泊研修会（126人）、ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（7人）、ジュニアリーダー“あるふあ”の会（20人）、社会科及び総合的な学習の時間を活用した調べ学習、防災教室の実施（全小中義務教育学校）
環境教育の推進	帯広らしい環境教育プログラム集のホームページへの掲載、児童会館科学展示室（入場者 32,966人）、児童会館での科学教室・工作教室等（64,096人）、自然観察会（28人）、自然系出前講座（13回）

② 職業観の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校におけるキャリア教育の推進	インターネットを活用した調べ学習
職業体験機会の充実	おびひろキッズタウン 2023（132人）、小学生の1日飼育係（2回、15人）、1日飼育係（5回、19人）、親子で飼育体験（3回、16人）、学校での講話、職業調べに対する協力、なりきり図書館員（1回、15人）

③ 情報教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
情報活用能力の育成	研修講座における教職員向け研修
情報モラルの育成	帯広市生徒指導連絡協議会における帯広市ネット非行対策講演会、携帯電話販売店の立入調査（25店）、各校で外部講師等を活用した情報教室の開催

プログラミング教育 の推進	発達の段階に応じたプログラミング体験
------------------	--------------------

④ 国際理解教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	外国語指導講師（ALT）を全小中義務教育学校に派遣
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	国際交流員や JICA 職員の学校訪問

⑤ 南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
商業教育の充実	外国人英語指導助手配置（1 人）
地域経済に貢献する人材の育成	インターンシップ事業（協力事業者 44 事業者）
地域社会との連携・協働による教育の推進	学校運営協議会の開催
地域とつながる活動の推進	学校開放講座、ボランティア活動、学校ホームページによる情報発信

（２） 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校における授業の工夫・改善	「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業、ICT を活用した授業
学習活動の支援	長期休業期間や放課後の時間を活用して学習会を開催、データベース教材の作成（漢字習熟確認ボード改訂、小学校社会科副読本「おびひろ」デジタル版他）、ぶっくーる便(904 件・31,640 冊)
教育課程の工夫・改善	教育課程編成の手引きの作成、小中学校における一貫性のある教育課程、標準学力調査、研究紀要「帯広の子どもの学力」発行
学力の分析・検証	特筆項目なし
体験的・問題解決的学習の推進	観察・実験などの体験学習の推進、帯広畜産大学との連携事業（2 回、52 人）、児童会館での宿泊学習等（2,686 人）、プラネタリウム上映（入場者 14,128 人）

⑦ 豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	内訳・実績
道徳教育の充実	学校指導訪問での指導・助言、公開研究会の実施
読書活動の推進	学校図書館の図書資料の整備（324 冊）、司書教諭の配置（31 校、31 人）、学校図書運営委員会への補助（39 者）、学校図書館開放事業（1 校）、図書ボランティアとの連携、おはなし会（72 回、1,978 人）、キミヘノチカラシリーズブックリスト発行（2 回）
文化芸術活動の推進	文化系大会派遣支援事業（吹奏楽 2 校、合唱 1 校）全道大会派遣補助の実施、芸術鑑賞事業の取組、幼児向けのプチコンサート（104 人）、第 34 回親と子のわくわく音楽会（825 人）、帯広市小中学生のための札幌コンサート（2,696 人）
体験活動の推進	乗り物利用学習等の体験活動の実施、児童会館科学展示室（入場者 32,966 人）、児童会館での体験活動（科学教室・工作教室等 64,096 人、文化関連事業 11,831 人）、野草園の利用者（16,841 人）、体験教室（48 人）、夏休み親子陶芸教室（3 回、100 人）、冬休み親子陶芸教室（3 回、87 人）、親子ものづくり教室（2 回、26 人）、小学生の 1 日飼育係（2 回、15 人）、1 日飼育係（5 回、19 人）、親子で飼育体験（3 回、16 人）、ふれあい教室・ぬくもり体験（64 組、2,044 人）

⑧ 健やかな体の育成

主な取り組み	内訳・実績
体力・運動能力の向上	冬季活動機会提供事業（十勝子ども雪上ばんば 17 チーム 96 人）、体育系大会派遣支援事業（全道 250 人、全国 57 人）各大会派遣補助の実施、全国体力・運動能力、運動習慣等の調査・分析、帯広市体力・運動能力の調査分析、スポーツ少年団本部への支援（少年団数 62 団体、登録者数 1,218 人）、スポーツ少年団指導者育成の支援（278 人）、ほっとドリームプロジェクト（延べ 2,654 人参加）
安全・安心な学校給食の提供	地場産食材の導入促進、アレルギー対応の実施（212 人）
正しい「食」への理解の推進	「食育通信」の配布、食育推進会議を開催し食育推進部会でリーフレット等の作成、「おびひろ市民学」において各校に食育指導専門員を派遣し「帯広らしい食育プログラム」の実施、食関連図書展示「笑顔でいただきます」
健康教育・健康保持	がん教育等健康に関する出前講座の開催

⑨ 教員の資質・能力の向上

主な取り組み	内訳・実績
教員の指導力の向上	教員リーダー育成講座（4回）、パソコン研修講座（89回）、帯広市教育研究会事業補助、ほっとドリームプロジェクト（延べ2,654人参加）
教職員の働き方改革の推進	校務支援システムの活用に向けた研修会等の実施、教職員住宅の整備（改築：八千代中、解体：清川中）

（３） 地域とともに育む教育の推進

⑩ 地域との連携・協働の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域における支援体制の充実	全市立学校でのコミュニティ・スクール協議会の開催、帯広市コミュニティ・スクール通信の発行（3回）、リーフレットの配布、学校支援地域本部の運営（14本部39校）、こども学校応援地域交付金の交付（17団体）、帯広市学校・家庭・地域協働会議の開催（2回）
子どもの安全対策の充実	子どもの見守り活動実施（全小中義務教育学校39校）、子ども110番の家設置登録（981件）、通学路安全対策連絡協議会の開催（2回）、通学路危険か所合同点検（8か所）
地域主体の体験活動への支援	放課後子ども広場の実施（26校、延べ499回、延べ11,723人）、青連協への支援

⑪ 家庭教育への支援

主な取り組み	内訳・実績
教育相談の充実	家庭訪問相談員等の教育相談員の配置
家庭教育力向上のための支援	「食育通信」の配布、家庭教育学級（6学級、64人）、わくわく♪ドキドキ!!家読（うちどく）にチャレンジ！（1回、112人）
PTAとの連携の促進	帯広市PTA連合会への補助

⑫ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	内訳・実績
学校間の連携の推進	帯広市幼保小中連携推進委員会の設置、帯広市エリア・ファミリー構想の推進
通学区域の見直しの実施	適正規模の確保に向けた取り組みと併せた見直しの検討

(4) 安全・安心な教育環境の整備

⑬ 誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
いじめ・非行の防止	街頭巡回活動（421 回）、声かけ指導人数（655 人）
不登校への対応	家庭訪問相談員等による相談業務と教育支援センター、及びメタバース空間を利用したひろびろチョイスの運営
教育機会の確保	公立高等学校地域別検討協議会へ参加（2 回）、地域別公立高等学校協議会へ参加（1 回）、スクールバスの更新（広野・八千代地区）、就学援助認定（小 1,169 人、中 727 人）、奨学金貸付（大学生 16 人、専門学校 2 人、高校生 7 人）、障害者高等教育補助（89 人）
一人ひとりに応じた教育の充実	就学に関する教育相談の実施（507 件）、特別支援教育助手の配置（7 人）、特別支援教育補助員の配置（68 人）、生活介助員の配置（31 人）、特別支援学級の運営、小規模特認校就学（児童 1 人）

⑭ 安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	内訳・実績
学校施設の整備	煙突用断熱材除去（小学校 2 校）、屋内運動場屋根改修工事（小学校 1 校）、旧大空小学校の解体工事（1 期）、南町中学校長寿命化改修の基本設計、小学校のエアコン設置に向けた事前調査
学習環境の整備	教育用パソコンの活用（1,433 台）、机・椅子更新（小学校 1・2 年生 21 校 2,220 セット）
学校適正規模確保の推進	小規模校における近隣校との交流授業等の実施

(5) 自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮ 学習活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
学習機会や情報の提供	市民大学講座（45 講座、受講者 1,500 人）、生涯学習情報誌（情報誌「まなびや」成人向け 4 回、小学生向け 2 回）、地域の学習情報・指導者情報のホームページでの提供、放送大学帯広学習室の設置（利用者 34 人）、【社会教育施設連携事業】子ども向けプチ講演会「絵本に出てくる虫のおはなし」（1 回、35 人）、「キラキラおはなし会」（1 回、43 人）、電子図書館の運営（貸出冊数 163,971 冊）、自然観察会 28 人、博物館講座（330 人）、連続講座（70 人）、体験教室（48 人）、企画展（527 人）、特別企

	画展「十勝縦断生物誌」(2,446 人)、収蔵作品展(1,191 人)、レファレンス、親子で挑戦! 動物園のミステリークイズ(2 回、53 人)、幼児・児童動物画写生コンクール(217 人)、おび Zoo 寺子屋(4 回、65 人)、夜 Zoo 探検隊・おび Zoo 探検隊(6 回 208 人)、スポットガイド(随時)、小学生のための動物園塾(1 回、10 人)、小学生の 1 日飼育係(2 回、15 人)、1 日飼育係(5 回、19 人)、親子で飼育体験(3 回、16 人)、ふれあい教室・ぬくもり体験(64 組、2,044 人)、SNS による情報発信
--	--

⑩ 学習を通じたまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
自主的な学習活動の支援	コミュニティ講座(14,773 人)、高齢者学級(76 人)、「わかば会」50 周年記念事業の支援、語り手育成講習会(2 回、51 人)、百年記念館の常設展示解説、レコードコンサート(3 回)
地域の人材の育成・活用	学生の社会参加(24 日実施、参加者数 24 人)、令和 6 年 20 歳の集い(965 人)、生涯学習コーディネーターの支援、地域の指導者の登録者数(159 人)、学生によるボランティア活動の機会提供・取り組みへの支援、帯広畜産大学との共同研究の実施、帯広畜産大学との連携講座の実施(1 回、30 人)

⑪ 社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	とかちプラザの施設整備(外壁改修工事、空調機中央監視装置設計委託、レインボーホールパワーアンプ更新)、児童会館の施設整備(蛍光灯照明の LED 化等)、百年記念館の施設整備(受変電設備高圧機器更新・南側搬入口側溝修繕・給水加圧ポンプ工事・電話設備改修修繕等)、動物園の施設整備(新サル舎電灯暖房修繕、ビジターセンター整備、園路整備、馬ふれあい舎整備、東側トイレ整備、新キリン舎整備着手)、図書館の施設整備(自動ドア装置修繕、車庫シャッター修繕等)
適切な管理運営の推進	施設利用者数(とかちプラザ 394,623 人、帯広市図書館 159,480 人、帯広百年記念館 72,270 人、おびひろ動物園 173,807 人、帯広市児童会館 280,065 人、帯広市野草園 16,841 人)

(6) 人が輝く文化芸術活動の推進

⑱ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

主な取り組み	内訳・実績
市民文化芸術活動の促進	第42回おびひろ市民芸術祭（出演者、出品者数739人）、大ホールでスタインウェイを弾いてみよう！（参加者62人）、ロビーコンサート（出演者1団体）、地元出身在住者新人演奏会（出演者7人）、市民文藝第63号（99人、903作品）、とかちジュニア文芸第14号（応募者数202人、206作品）、とかちジュニア文芸文章教室（4講座、24人）、Little Concert～家族で楽しむ音楽会～（参加者2人）
文化活動団体の活動支援・指導者育成	文化団体等の情報提供（ホームページ掲載団体249団体）、帯広市文化賞等（2個人）、芸術文化活動振興事業補助金（3団体）、青少年芸術文化活動派遣研修補助金（5件）、大会等開催地補助金（1団体）
文化芸術の鑑賞機会の提供	NHK交響楽団演奏会帯広公演（1,214人）、蝶花楼桃花 独演会 in 帯広（167人）、弦巻楽団#38「セプテンバー」（111人）、劇団四季「クレイジー・フォー・ユー」（1,322人）、ロビーコンサート（24人）

⑲ 文化資源の継承・活用

主な取り組み	内訳・実績
文化財等の調査・保存・活用	埋蔵文化財センターの活動
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	アイヌ民族文化理解促進指導用教材の作成（副読本 おびひろ）、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動
市史資料収集・保存	年史報告書の執筆・編集（1冊）、市史専門委員会の開催（4回）古文書連続講座の開催（1回）

⑳ 文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	市民ギャラリーの施設整備（展示室壁塗装修繕、冷暖房機修繕、スポットライト交換等）、文化ホールの施設整備（小ホール椅子更新、小ホール調光操作卓更新）
適切な管理運営の推進	施設利用者数（帯広市民文化ホール217,818人、おびひろグリーンステージ168,620人、市民ギャラリー32,429人）

(7) 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

⑪ 多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
スポーツの振興	スポーツ賞（2 個人、1 団体）、スポーツ奨励賞（6 個人、3 団体）
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	スポーツ大会派遣補助（187 件、713 人）、スポーツ少年団本部への支援（少年団数 62 団体、登録者数 1,218 人）、スポーツ少年団指導者育成の支援（278 人）
スケート競技の振興	ほっとドリームプロジェクト（延べ 2,654 人参加）

⑫ スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
地域スポーツの振興	スポーツ推進委員の配置（委員数 49 人）、各種スポーツ教室の開催（56 回、延べ 1,619 人参加）、総合型地域スポーツクラブへの支援（6 団体）、フットバレーとかちマラソン大会の実地開催（5,024 人エントリー）、スポーツフェスティバルの開催（25 種目、2,734 人参加）、学校開放事業（スポーツ開放）（265 団体、延べ 168,326 人利用）
スポーツ大会合宿等誘致	各種全国・全道大会等の誘致及び開催支援（30 大会への支援）、合宿の誘致（宿泊団体数 413 団体、宿泊者数 7,657 人）、プロスポーツ等の誘致

⑬ スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	帯広の森陸上競技場走路・助走路等修繕、帯広の森市民プール ろ過装置 残留塩素濃度計交換修繕、帯広の森体育館特定天井対策・照明 LED 化改修工事、帯広の森運動施設高圧ケーブル等改修工事
適切な管理運営の推進	体育施設利用者数（1,350,111 人）

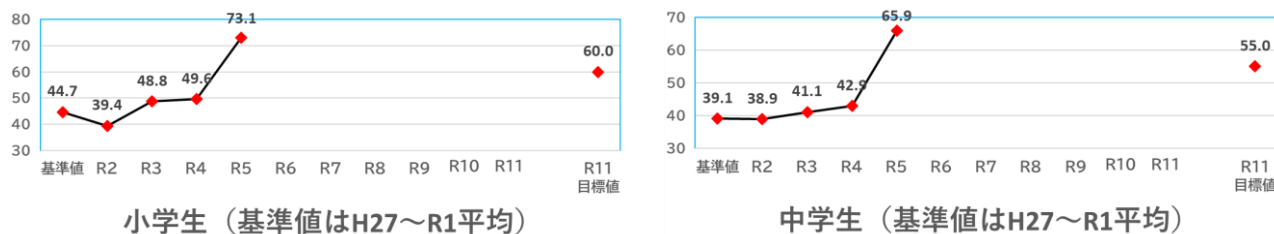
(8) 施策の推進

教育委員会における取り組み
教育懇談会（2 回）、教育委員会会議の会議録のホームページでの公開、社会教育委員会会議の開催（3 回）

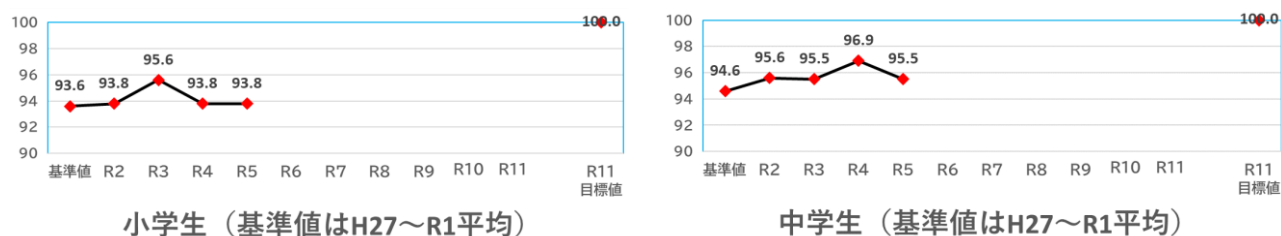
○ 成果指標の推移

基本施策1：帯広の明日を拓く力の育成

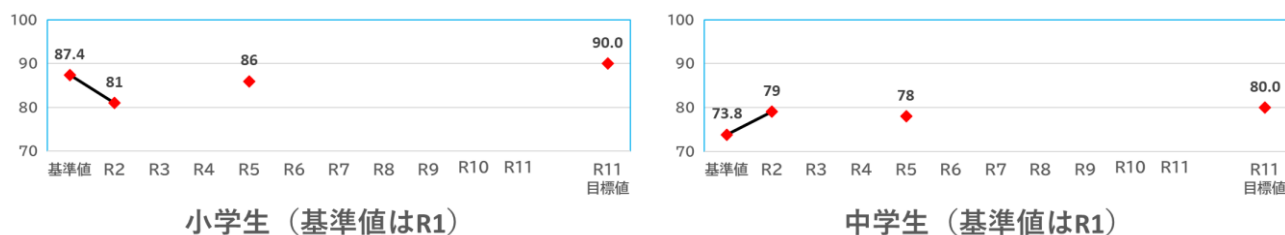
参考図1. 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合(%)



参考図2. 人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合(%)



参考図3. 授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合(%)



参考図4. 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ってみたりしてみたいと思う子どもの割合(%)

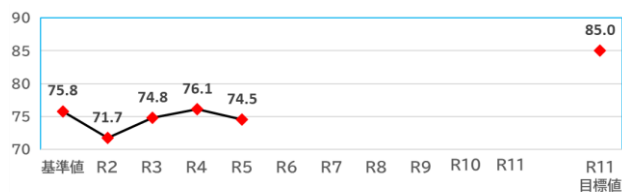


参考図5. 地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合(%)

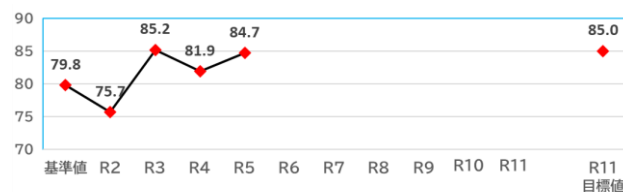


基本施策2：変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

参考図6. 授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合(%)

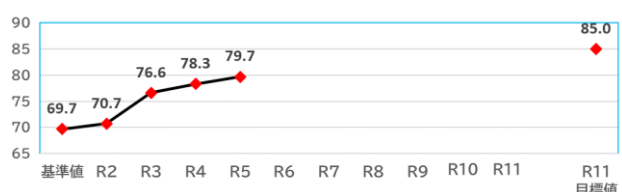


小学生（基準値はH30～R1平均）

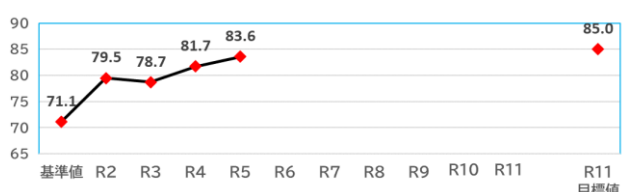


中学生（基準値はH30～R1平均）

参考図7. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合(%)

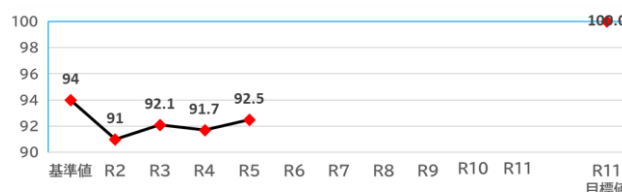


小学生（基準値はH27～R1平均）

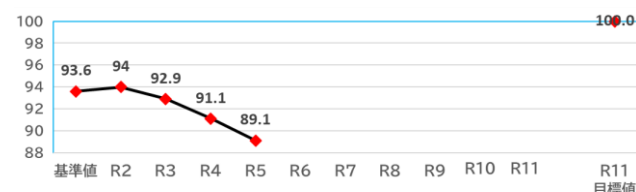


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図8-1. 朝食を毎日食べている子どもの割合(%)



小学生（基準値はH27～R1平均）



中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図8-2. 1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合(%)

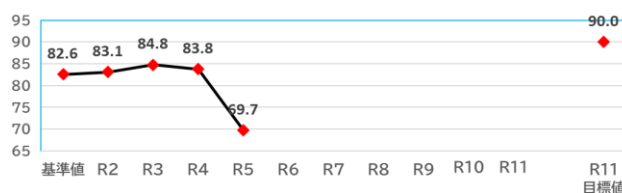


小学生（基準値はH26～H30平均）

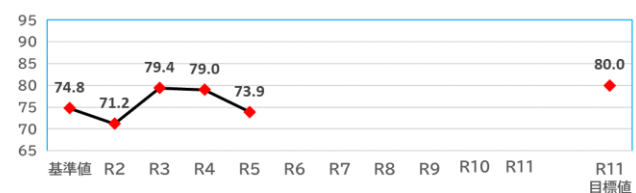


中学生（基準値はH26～H30平均）

参考図9. 授業の内容がよくわかると思う子どもの割合(%)



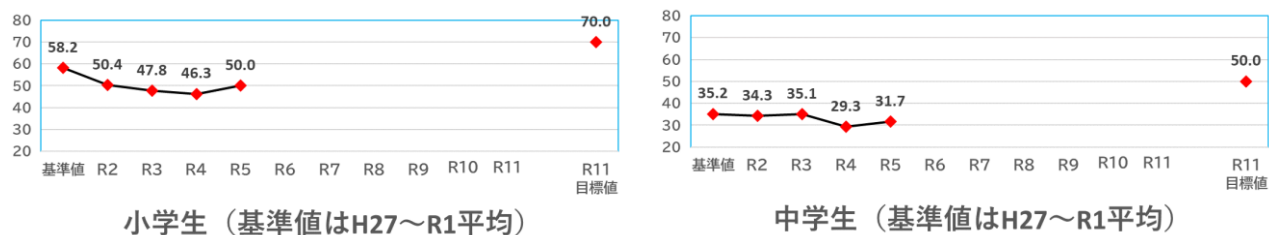
小学生（基準値はH27～R1平均）



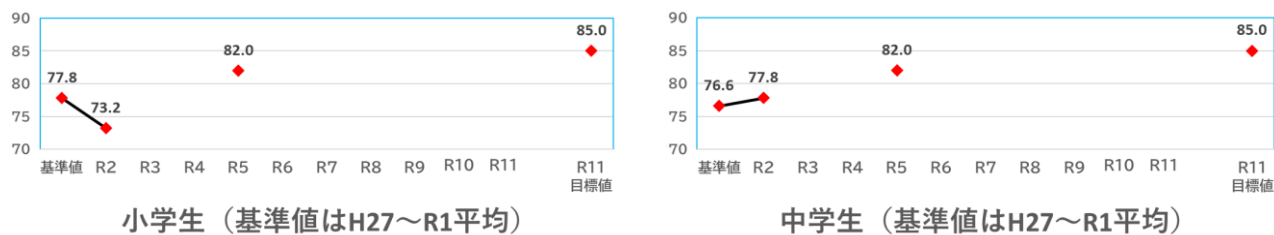
中学生（基準値はH27～R1平均）

基本施策3：地域とともに育む教育の推進

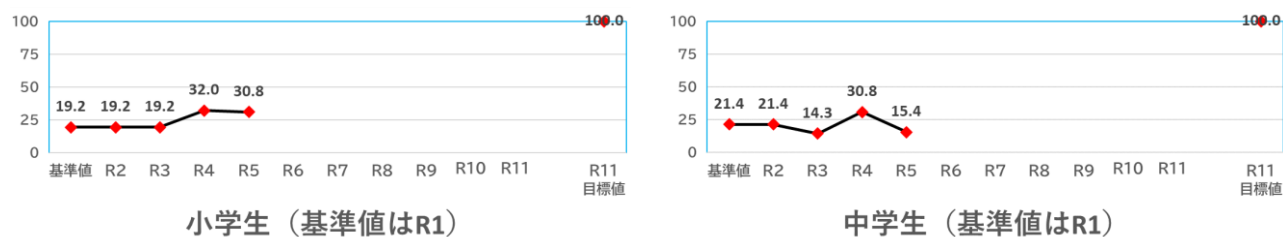
参考図10. 地域の行事に参加している子どもの割合(%)



参考図11. 家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合(%)

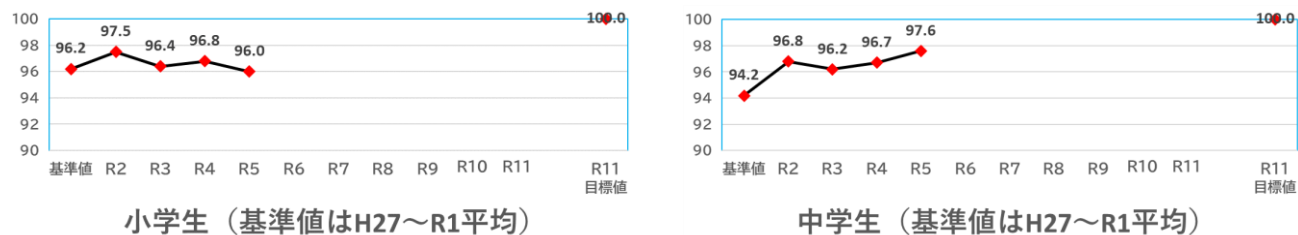


参考図12. 小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合(%)

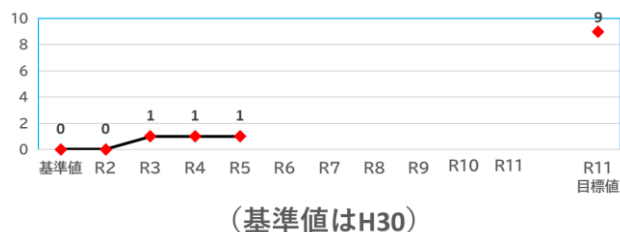


基本施策4：安全・安心な教育環境の整備

参考図13. 「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合(%)

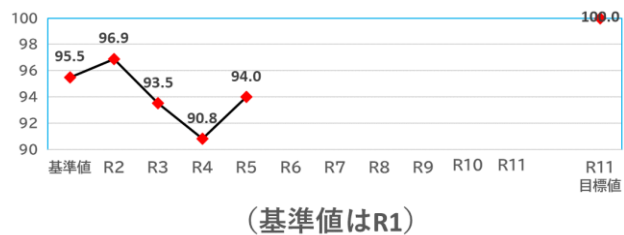


参考図14. 長寿命化改修の実施校数(校)



基本施策5：自ら学びともに支える生涯学習の推進

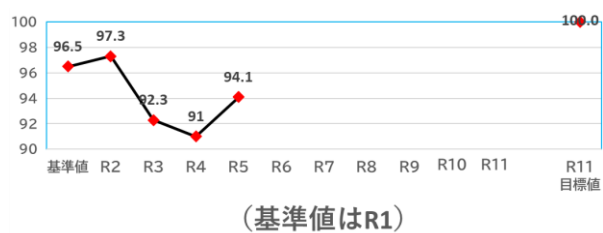
参考図15. 講座の満足度(%)



参考図16. 学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合(%)



参考図17. 施設利用者の満足度(%)



基本施策6：人が輝く文化芸術活動の推進

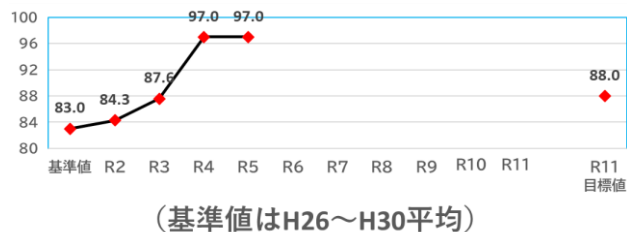
参考図18. 直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合(%)



参考図19. 市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数(件)



参考図20. 施設利用者の満足度(%)

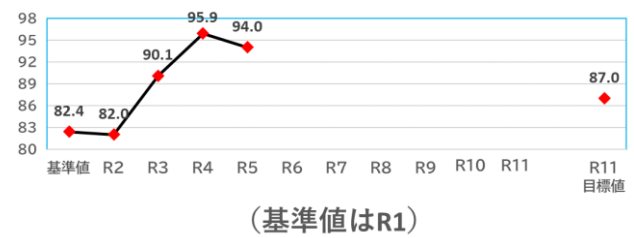


基本施策7：笑顔をつなげる教育活動の推進

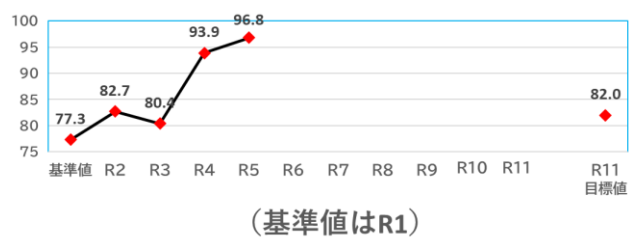
参考図21. 市内小学生数における帯広市
スポーツ少年団登録者数の割合(%)



参考図22. 1年間のうち、する、みる、ささえる
ことでスポーツに関わった市民の割合(%)



参考図23. 施設利用者の満足度(%)



○ 令和4年度の課題及び今後の方向性に対する令和5年度の取り組み

(1) 帯広の明日を拓く力の育成

① ふるさと教育の推進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びをすすめるほか、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供する	○「おびひろ市民学」において、十勝・帯広について学ぶ機会を提供したほか、児童会館では、昭和50年代の街並みのジオラマの常設展示コーナーを開設し、まちづくりや歴史に興味関心を高める機会を提供、動物園では、地域の動物をテーマとした講座を実施（おびZoo 寺子屋ばん馬編、小学生のための動物園塾、モモンガってなんだ？夕暮れモモンガ観察会）、スポーツ体験として、「ほっとドリームプロジェクト」の実施、明治北海道十勝オーバルを十勝管内小学校へ授業開放
食を通じたふるさと理解の促進	○地域の食や産業への理解促進を目的に、地場産食材を活用した「ふるさと給食」を提供する ○「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施し、食を通じたふるさと理解をすすめる	○地場産食材の収穫期に合わせ、9～11月の各月1日ふるさと給食を提供したほか、学校給食をテーマとした標語コンテストを開催 ○食を通じたふるさと理解をすすめるため、「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施
地域社会に参画する意識の醸成	○各団体等と連携し、体験活動やリーダー研修による、養成事業の充実を図る ○計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の知識を身に付ける機会を提供する ○親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加等への意識を高める	○地域子ども会リーダー宿泊研修会や、ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」を実施 ○親子防災講座においてボランティアや防災活動への参加等への意識を高めるとともに、租税教室を実施

環境教育の推進	○学校での環境教育を推進し、子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設ける ○帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を提供する	○当事者意識を持って課題解決する能力を養うため、生活体験を軸とした教育をすすめたほか、環境教育に取り組む学校、地域等の連携を促進するため「帯広らしい環境教育プログラム集」を発行し、ホームページに掲載 ○児童会館では、科学展示室の展示等により、環境について考え学ぶ機会を提供 ○百年記念館では、自然観察会やミニ百年記念館などの主催事業や出前授業により地域の自然について学ぶ機会を提供
---------	--	---

② 職業観の育成

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
学校におけるキャリア教育の推進	○「おび学ファイル(ポートフォリオ)」を継続活用し、系統的な学びの充実と社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上が図られるよう、指導・助言を継続する ○積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、学校間連携が図られるよう情報共有をすすめる	○多様な職業について理解を深めるため、外部講師を招いた授業等を実施 ○一人一台端末を活用したオンライン工場見学やインターネットによる調べ学習等、キャリア・パスポートを活用した系統的な指導を実施
職業体験機会の充実	○関係課や参加企業と協力し、職業体験機会を提供する ○図書館においては、インターンシップや実習を継続的に受け入れ、希望分野に沿った職業体験機会を提供する ○百年記念館においては、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験機会を提供する ○動物園においては、飼育体験等の事業におけるアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実に向けて取り組む	○関係課や参加企業と協力し、職業体験や社会体験の機会を提供する「おびひろキッズタウン」を実施 ○図書館においては、インターンシップの受け入れや職業インタビューを通じ、市役所や司書の仕事について理解を深める機会を提供 ○百年記念館では、博物館の特色を活かしたインターンシップを実施し、地域に根差した職業体験機会を提供 ○動物園での体験型講座の実施（1日飼育係、小学生の1日飼育係、親子で飼育体験）インターンシップ、キャリア教育（講話）、職業調べへの協力

③ 情報教育の推進

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
情報活用能力の育成	○一人一台端末の日常的な活用の充実に取り組む ○地元企業等と連携した ICT を活用した教育をすすめる	○情報を整理・比較し、発信・伝達する力を育成するため、一人一台端末を活用した学習活動を実施したほか、ICT を活用した教員の指導力向上のため、おび GIGA 支援員派遣による校内研修等を実施
情報モラルの育成	○インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等について啓発に取り組む ○関係機関や事業者、家庭と連携し、情報モラルの育成に取り組む ○関係機関と連携し、SNS の正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組む	○正しい知識を身に付けるため、著作権やプライバシーの保護等について理解を深める学習を実施 ○関係機関との連携による講演会の開催や、販売店への立入調査などを実施
プログラミング教育の推進	○プログラミング教育を行う単位について、各学校が教育課程へ位置付けるとともに、中学校技術科において企業による専門的な授業を開催する	○プログラミング的思考や ICT を活用するために必要な資質・能力の育成を発達の段階に応じて実施

④ 国際理解教育の推進

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	○外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に継続して取り組むとともに、研修を通じて外国語指導講師の授業力の向上を図る ○外国語指導講師等との触れ合いを通して、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を図る	○外国語運用能力向上のため、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるための指導を実施 ○外国語指導講師（ALT）の指導力向上のための、「ALT 研修 TIME」を実施 ○発達の段階に応じて、国際交流員等を効果的に活用した、コミュニケーション活動を実施
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	○外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組むほか、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践をすすめる	○他国の文化や歴史についての理解を深め、尊重する資質や能力を育成するため、外国語指導講師や市の国際交流員との交流等を通じて、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供

⑤ 南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
商業教育の充実	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導に取り組む ○多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組む ○国際理解教育については、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携してすすめる	○全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合が82.4%と全道の商業高等学校のなかで最多 ○マディソン市派遣研修は現地の状況確認や、研修内容の検討のため中止
地域経済に貢献する人材の育成	○外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験合格に向けた学習支援等により即戦力となる人材育成の充実に取り組む	○外部講師によるマナー講習会の実施。インターンシップや先輩訪問の実施
地域社会との連携・協働による教育の推進	○コミュニティ・スクールから学校運営に対する意見をいただき、教育活動について今後も改善を図る ○学校運営協議会から学校運営に対する意見をいただくなどして、学校の運営状況や教育活動の改善に継続して取り組む	○学校運営協議会の開催
地域とつながる活動の推進	○学校開放講座の、実施手法や内容の見直しをすすめ、地域住民に学習機会を提供する ○生徒のボランティア活動については、主催者等と連携した取り組みをすすめる	○学校開放講座の開催 ○ボランティア活動の実施

(2) 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
学校における授業の工夫・改善	○個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実に向け、一人一台端末をより主体的に活用する授業を通じ、「子ども」が主体となる授業実践をすすめる	○「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した、一人一台端末を活用した授業を推進

学習活動の支援	○一人一台端末で活用できる教材作りに継続して取り組む ○不登校児童生徒への学びの保障等、オンラインを活用した学びの更なる充実を図る ○「ぶっくーる便」の計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供する	○一人一台端末で活用できる教材や、副読本「おびひろ」（令和５年度発行）のデジタル版を作成 ○登校ができない児童生徒の学びを保障するため、メタバース空間を活用した学びを実施 ○令和５年度の「ぶっくーる便」は計画的な図書の入替により、904件（前年比199件増）と利用件数が増加
教育課程の工夫・改善	○目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を図る ○全小中義務教育学校の適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するため、「教育課程編成の手引き」を見直す	○学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成 ○小中義務教育学校において、一貫性のある教育が実施されるよう、エリアを中心として小中連携を推進
学力の分析・検証	○学力の実態や標準学力調査の特徴を総合的に分析し、指導方法の改善につながる事項を明らかにし、学校に還元する	○標準学力調査結果の分析と指導のあり方について「帯広の子どもたちの学力」に整理し各校へ配付
体験的・問題解決的学習の推進	○図書館や児童会館において、学校の二ーズを踏まえながら各種の学習機会を提供する	○関係機関と連携し、オンラインを活用した施設見学を実施 ○図書館では、帯広畜産大学と連携し、課題解決型講座を実施 児童会館では、プラネタリウムや科学展示室、宿泊学習での科学実験学習や親子科学実験教室、工作教室を開催し、科学や自然を学ぶ体験機会を提供

⑦ 豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	令和４年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和５年度の取り組み
道徳教育の充実	○校内外における教職員向け研修の充実を図り、道徳科の授業改善をすすめる ○子どもたちの道徳性を豊かに育むため、地域人材やゲストティーチャーを活用するほか、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開する	○公開研究会等を活用した校内外における教職員向け研修の充実を図り、道徳科の授業改善を推進 ○子どもたちの道徳性を育むため、道徳科を要とした教育活動を展開

読書活動の推進	○図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携を図る ○電子書籍の利用を通して読書活動の活性化に取り組む ○将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成する	○市図書館司書の派遣による「学校図書館クリニック」を実施 ○朝読書等における一人一台端末から閲覧可能な電子書籍の活用 ○「語り手育成講習会」については、入門編、ステップアップ編と習熟度に応じて実施
文化芸術活動の推進	○演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会を提供する ○感染症対策における経験を活かしながら、より効果的な学習発表会や文化祭の在り方を検討し、子どもたちの情操教育をすすめる	○子どもたちの感性や創造力を育むため、授業等において多様な文化芸術の体験的な学習活動を推進 ○各学校においてICTを活用した学習発表会や文化祭を展開
体験活動の推進	○各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を提供するとともに、感染症対策における経験を生かしながら、内容の見直しについて検討する	○「おびひろ市民学」において、ICTを活用したオンライン工場見学を実施 児童会館での科学教室・工作教室等の開催 動物園での体験型講座の実施（1日飼育係、小学生の1日飼育係、親子で飼育体験）

⑧ 健やかな体の育成

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
体力・運動能力の向上	○体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催や各学校への大学教授等の専門的な指導を通じて、子どもたちの体力・運動能力の分析・検証をすすめ、授業改善に取り組む	○各学校において、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証し、授業への反映や生活習慣の見直しを実施
安全・安心な学校給食の提供	○地場産食材の導入をすすめるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達を図る ○食物アレルギーに関する正確な情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組む	○安全安心な地元産食材の導入促進 ○食物アレルギーを持つ児童生徒に対してアレルギー除去食（卵、乳）の提供。「給食だより」へのアレルギー情報の表示。

正しい「食」への理解の推進	○「食育通信」等の資料の配布や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族と一緒に朝食作りに取り組むイベント、食育講演会を実施する ○図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催する	○「食育通信」の発行 ○食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図るため「朝食レシピコンテスト」を実施 ○食の映画会「やまと尼寺精進日記 1-1」の上映や食に関するコラボおはなし会を開催
健康教育・健康保持	○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育をすすめる	○子どもたちの健康保持増進のため、学校の教育活動全体を通じて、がん教育や体育・健康に関する指導を実施

⑨ 教員の資質・能力の向上

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
教員の指導力の向上	○学力向上推進プロジェクトチームの会議等を通じて、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上を図る ○教職員向け研修の受講率向上を図るため、今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上につながる講座の企画に取り組む	○授業改善に向けた指導主事による学校教育指導訪問を実施したほか、学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善ワンポイント講座を実施 ○本格運用を開始した校務支援システムについて、教職員ヘルプデスクによるサポートや研修会を開催 ○教職員の受講率向上に向けた講座を企画
教職員の働き方改革の推進	○「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第2期）」に基づく取り組みをすすめる ○校務支援システムの活用の促進や操作の定着を図るため、研修会等を実施する ○教職員向けの研修について、オンラインの活用や対面方式での実施等、教職員の負担軽減に向けた体制づくりをすすめる	○教職員の負担軽減の観点から、オンライン受講可能な研修を実施 ○校務支援システムの活用を促進するため、研修会等を実施

(3) 地域とともに育む教育の推進

⑩ 地域との連携・協働の推進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
地域における支援体制の充実	○「地域とともにある学校づくり」をすすめるため、地域との熟議や協働による取り組みをすすめる ○指導主事による学校教育指導訪問時に、取り組み状況に応じた全国の好事例を情報提供する ○学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等に取り組むほか、こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体間の連携した活動の拡大を図る	○全市立学校でコミュニティ・スクール協議会を実施し、学校・家庭・地域で目指す子ども像を共有 ○学校・家庭・地域が一体となった活動の促進や人材育成のため、「帯広市学校・家庭・地域協働会議」における意見交換や研修会を実施 ○新規CS委員向けの研修会を開催(2回)し、制度の周知に努めたほか、こども学校応援地域交付金を交付(17団体)し、ボランティア団体間の連携した活動を支援
子どもの安全対策の充実	○活動団体の担い手確保を継続し、地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知をすすめる ○通学路の安全確保については、関係機関と情報の共有を図り、危険個所の合同点検を実施する ○登録者の確保により「子ども110番の家」設置個所の拡充を図る	○熱中症等の情報も加えた「帯広市子供安全ネットワーク」による保護者への情報発信 ○通学路危険個所の点検と公表 ○登下校時にその身に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども110番の家」の設置(981個所)
地域主体の体験活動への支援	○子どもの居場所づくり事業は、事業を担うボランティア登録者数や実施回数及び参加児童数が感染症流行以前より減少しているため、実施方法やPR活動を工夫し事業を継続する ○青少年育成団体の各事業においては、関係団体と協力し、魅力ある体験活動機会を提供する	○プラザまつりや市内小売店等でPR活動を行ったほか、複数学年合同で放課後子ども広場を実施 ○地域のリーダーを養成するための研修会や十勝子ども雪上ばんば等の体験活動を実施

⑪ 家庭教育への支援

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
教育相談の充実	○教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用を図るため、配置日数の調整等の工夫をすすめる ○相談員会議等を通して研修を深め、相談業務の充実を図る	○こころの教室相談員及び家庭訪問相談員を配置し、子どもの教育に関する悩みについての相談に対応
家庭教育力向上のための支援	○学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、「おびひろ市民学」を中核として消費者教育・人権教育等様々な視点から啓発をすすめる ○家庭に向けて、図書館における絵本セットの内容の充実に取り組む ○「食育通信」の配布により、ライフスタイルの変化による児童生徒の食生活の乱れ改善に取り組む	○子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、起床や食事の摂取状況を記録するためのシートを学校にて配布し、家庭への助言を実施 ○図書館では、絵本セットの内容の見直しに向けて、専用のバックを更新 ○「食育通信」の配布
PTA との連携の促進	○各校のPTAや帯広市PTA 連合会等との情報交換をすすめるほか、関係団体への行政支援を継続し連携も深める	○家庭における教育力を高めるため、各校のPTAや帯広市PTA 連合会等との情報交換を実施 ○帯広市PTA 連合会へ補助金の支出、後援などによる支援の実施

⑫ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
学校間の連携の推進	○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成をすすめる ○幼保・小・中における授業交流や乗り入れ授業を行うとともに、教員による部会を設定し、教育実践の交流や教育課題の共有を図るなど、より詳細な情報共有や学校種間の連携強化をすすめる	○「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、職員間交流を通じた情報共有を実施 ○エリア・ファミリーの代表者が集まり、生徒指導に関わる諸問題について協議し、エリア共通の取組を推進

通学区域の見直しの実施	○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しをすすめる	○学校の適正規模の確保に関する取り組みと合わせ、通学区画の見直しの検討を実施
-------------	--	--

(4) 安全・安心な教育環境の整備

⑬ 誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
いじめ・非行の防止	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備をすすめる ○街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む	○道徳科の学習を要として、子どもたちの意識向上に取り組んだほか、対策委員会等による啓発活動を実施 ○地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施
不登校への対応	○教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化をすすめる	○不登校傾向の子どもに対して、教育相談員と連携し、子どもや保護者からの相談対応や助言等を実施 子どもの自立や学校生活への復帰を支援するため、適応指導教室の運営、一人一台端末を活用したオンライン授業等を実施
教育機会の確保	○就学や通学に関わる経済的な支援を行う ○スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討する ○市内高校の間口を維持・確保するため、会議等の機会を通して情報収集や要望活動を行う	○就学や通学に関わる経済的な支援を実施 ○広野・八千代地区のスクールバスを更新したほか、運転手の確保を検討 ○市内高校の間口を維持・確保するため、関係者間での情報収集や意見交換の実施
一人ひとりに応じた教育の充実	○教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備をすすめる ○教職員向けの研修により、LGBT等やヤングケアラー、障害のある児童などへの理解促進の取り組みをすすめる	○個別の指導計画及び教育支援計画の作成、関係機関・保護者との情報共有や特別支援教育に係る教員の知識・技能の習得を推進 ○LGBT等に関する理解を深める研修会を開催

⑭ 安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
学校施設の整備	○「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ継続的な修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に取り組む	○小中学校において、屋内運動場屋根改修工事、旧大空小学校解体工事（1期）、南町中学校長寿命化計画の基本設計、小学校のエアコン設置に向けた事前調査、屋内運動場床研磨修繕を実施 南商業高等学校において、特別教室等に網戸を設置、屋内運動場バスケットゴール修繕を実施
学習環境の整備	○小中義務教育学校においては、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成を図るため、一人一台端末の活用範囲の拡大をすすめる ○南商業高等学校においては、商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得のため、情報機器等の環境整備をすすめる	○授業での一人一台端末の活用をすすめる、長期休業時での持ち帰りによる自宅学習にも活用 ○端末を用いた情報処理やマーケティング授業などに使用するサーバー機器を更新
学校適正規模確保の推進	○児童生徒数及び学級数を推計し、結果について市民へ情報提供する ○学校の小規模化による影響の緩和を図る取り組みをすすめる	○児童生徒数、学級数及び今後の推計値のホームページ上での公開 ○小規模校化による影響の緩和を図るため、近隣校での交流授業の実施

（５） 自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮ 学習活動の促進

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
学習機会や情報の提供	○市民大学講座は、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、開催方法の工夫等により、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」による情報提供を行う ○図書館では、他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に拡大し、厚みのある事業に取り組む ○百年記念館では、博物館ならではの講座の開催、展示の企画に取り組む	○市民大学講座において、新たに天体観測講座や参加型の防犯講座などを開講したほか、生涯学習情報誌「まなびや」を発行 ○図書館では、アマチュア落語団体と共催し、「出前落語高座」を開催 ○百年記念館では、十勝に関する多方面の最新研究情報などを博物館講座で提供したほか、特別企画展「十勝縦断生物誌」を開催

	○動物園では、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、引き続き内容の充実をすすめる	○教育講座（おび Zoo 寺子屋等）、体験講座（飼育体験ほか）の実施、SNS による情報発信
--	--	--

⑩ 学習を通じたまちづくり

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
自主的な学習活動の支援	○図書館では、ボランティアと情報交換を図りながら相互連携をすすめ、活動を支援する ○百年記念館では、ボランティアの知識向上のために研修会等の学習機会を確保し、知識を活かした新たな活動の場を提供するほか、ボランティア活動を行う人員の充実に取り組む ○動物園では、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援する ○地域の生涯学習活動では、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援に取り組む	○図書館では、読み聞かせや朗読ボランティアと共催でおはなし会や朗読会を実施 ○百年記念館では、ボランティア向けの研修会を実施 ○動物園では、学生のボランティア活動に対する助言等のサポートを実施 ○生涯学習推進委員会によるコミュニティ講座において、地域住民への生涯学習機会や交流機会を提供
地域の人材の育成・活用	○生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用を図るため、情報発信の強化と登録者数の確保に取り組む	○生涯学習指導者登録制度での、指導者登録を公開したほか、地域における生涯学習活動支援のための情報発信を実施

⑪ 社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○とちまちプラザにおける外壁改修工事、空調機中央監視装置設計委託、レインボーホールパワーアンプ更新 図書館における自動ドア装置修繕、車庫シャッター等を修繕 児童会館における蛍光灯照明の LED 化着手等を実施 動物園における新サル舎電灯暖房修繕、園路整備、馬ふれあい舎整備、ビジターセンター整備、東側トイレ整備、新キリン舎整備に着手

適切な管理運営の推進	○とにかちプラザでは、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む ○図書館では、適切な管理運営と図書館サービスの向上に取り組む ○児童会館では、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催するほか、学びと遊びの機能の充実に取り組む ○百年記念館では、利用者ニーズを念頭に置き、利便性の向上を図るほか、効果的・効率的な管理運営に取り組む ○動物園では、地域に根差した魅力ある動物園と感じられるよう、講座等の学習機会の提供やレクリエーション機能の充実に取り組む	○図書館では、こどもの本の森のベンチを修繕し、安全・安心して過ごせる環境を整備 ○児童会館では、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催したほか、昭和 50 年代の中心市街地のジオラマ常設展示コーナーや「デジタル遊具コーナー」を開設 ○百年記念館では、アンケートを用いた利用者ニーズの確認を実施 ○動物園では、一日飼育係やおび Zoo 探検隊等の講座のほか、海の日やハロウィンのイベントを実施
------------	---	--

（６） 人が輝く文化芸術活動の推進

⑱ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
市民文化芸術活動の促進	○市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業に継続して取り組む ○「とにかちジュニア文芸文章教室」を開催し、子どもたちの創作意欲・読解力・表現力の向上を図る ○市民の文化芸術活動を支援するため引き続き学校施設の開放事業を行う	○市民芸術祭や新人演奏会等の事業を実施 ○とにかちジュニア文芸文章教室を開催 ○学校施設開放事業の実施
文化活動団体の活動支援・指導者育成	○文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う	○ホームページなどを活用し、文化団体の活動情報を提供、文化賞等による表彰（2 個人）
文化芸術の鑑賞機会の提供	○鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組む ○市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画する	○音響コンサートや演劇、落語等の公演の実施

⑱ 文化資源の継承・活用

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行う ○「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、計画的に取り組みをすすめる	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行うほか、文化財を活用・公開する事業を継続して実施する ○「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、専門業者による修理・美装化を実施できるよう計画的に取り組みをすすめる
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組む	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金による活動の補助、伝統的生活空間(イオル)再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施
市史資料収集・保存	○「年史報告書」の作成に取り組むとともに、令和 14 年度に迎える帯広市開拓 150 年・市制施行 100 年を見据えて、資料収集事業に取り組む	○各種の周年事業に際し、これまで蓄積したデータを活用しながら企画を構成。企画を通じて、新しい資料の発掘など情報収集を実施

⑳ 文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○株式会社六花亭様から寄贈いただいた「小ホール客席椅子」の更新、故障時の影響や緊急性を勘案し、小ホール内の照明操作をする「小ホール調光操作卓」を更新
適切な管理運営の推進	○適切な管理運営と利用者サービスの向上に継続して取り組む	○指定管理者への適切な支援と、指定管理者の節減努力等により安定した経営を行い、利用者サービスを維持

(7) 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

⑪ 多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
スポーツの振興	○競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援する ○スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興をすすめる	○大会派遣に係る経費の補助、スポーツ賞等による団体、個人への表彰、合宿・プロスポーツ等の誘致による市民へのスポーツ観戦機会の提供
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○安全確保に関する研修の実施などを通して指導者の資質向上に取り組み、少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組む	○スポーツ少年団本部及びスポーツ協会を通じた指導者への研修等の支援
スケート競技の振興	○各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催を支援する ○「ほっとドリームプロジェクト」や、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、スケート競技の普及促進に取り組む	○2023/2024 ISU ワールドカップ スピードスケート競技大会・帯広大会をはじめ各種大会等の開催支援 ○「ほっとドリームプロジェクト」実施。明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放の実施

⑫ スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
地域スポーツの振興	○スポーツ教室の開催を通じて、多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組む ○学校施設のスポーツ開放において、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと情報発信に取り組む	○各種スポーツ教室、スポーツフェスティバルの開催 ○学校体育館のスポーツ開放事業の実施
スポーツ大会合宿等誘致	○スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備をすすめる	○大会開催支援、プロスポーツチーム等の合宿受け入れ、全国高等学校総合体育大会、スピードスケート国際大会、クラブユースサッカー選手権大会（U-15）、プロ野球公式戦、フットボールとまちマラソンの開催

②③ スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○帯広の森陸上競技場走路・助走路等修繕、帯広の森市民プール ろ過装置残留塩素濃度計交換修繕、帯広の森体育館特定天井対策・照明 LED 化改修工事、帯広の森運動施設高圧ケーブル等改修工事の実施
適切な管理運営の推進	○多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組む	○スポーツ施設における指定管理者制度による管理運営の実施、パークゴルフ場における市民協働による管理運営の実施